

工 事 仕 様 書 （電 気 設 備）

I. 工 事 概 要

1. 工 事 名 称
- 宝達志水町古墳の湯改修工事
2. 工 事 場 所
- 石川県羽咋郡宝達志水町石坂地内
3. 完 成 期 日
- 令和 年 月 日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日） 対象部分（ ）
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）
4. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備 考
古墳の湯	W・RC造	1 階建(地階 1 階、塔屋 階)	589.22	(9) 項口	

5. 別契約の関連工事
- ・ 建築工事

・ 電気設備工事

・ 給排水衛生設備工事

・ 空調調和設備工事

・ 構内交換設備工事

・ 昇降機設備工事

・ 自家発電設備工事

・ 厨房機器設備工事

・ 屋外付帯工事

・ 植栽工事
6. 工 事 内 容
- 宝達志水町古墳の湯改修工事に関わる電気設備工事一式を行う。
動力設備：機器の更新及び新設に伴い配管配線の新設及び取外し再取付、分電盤の改修を行う。
電灯コンセント設備：既設機器の更新を行う。
テレビ共聴設備：既設機器の更新を行う。
拡声設備：既設機器の更新を行う。
トイレ呼出設備：既設機器の更新を行う。
自動火災報知設備：既設機器の更新を行う。

II. 工 事 仕 様

1. 一 般 仕 様
- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。
2. 特 記 仕 様
- 章は●印のものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 共 通 事 項	① 工事実績情報	請負金額5, 0 0 0千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	② 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	③ 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表－1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。(1.1.7)
	④ 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	⑤ 施工条件	・ 新築工事 ○ 改修工事（・ 執務並行改修 ○ 全館無入改修） ・ 着手前に十分調査を行い、既存建築設備に損傷を与えないよう細心の注意を払い施工する事。 ・ 既存分電盤の改修・電源接続を新設した場合は、適切に表示を行う事。 ・ コンセントに回路名を表示する事。 ・ 引渡しを要するもの（・ ） ・ 特別管理産業廃棄物（・ PCB使用機器 ・ 廃石綿 ・ ） ・ 現場で再利用を図るもの（・ ） ・ 再資源化を図るもの（○ 蛍光ランプ ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・ ）
	⑥ 発生材の処理等	(1.3.9(2))
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 共 通 事 項	⑧ 事前調査	PCB含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ○ 行わない (改1.5.2) 石綿含有分析調査を ○ 行う（壁貫通箇所） ・ 行わない
	⑨ 養生	(改1.7.1) 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。(改1.7.2)
	⑩ 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ― ・ 燃料 (改1.8.1) 2) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。(改1.8.6)
	⑪ 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。(1.4.1(1)) ・ 照明制御システム ・ 変圧器 ・ 下塗用塗料（重防食） ・ 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。(1.4.1(2)) ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	⑫ 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。(1.4.2(1)) 2) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。
	14 化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない ― (1.5.7) 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。
	⑮ 中間検査	中間検査の実施 ○ 無 ・ 有（時期 ・ 天井下地完了時 ・ ） (1.6.2)
	⑯ 完成図	原図及び製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）提出する。(1.7.2)
	⑰ 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。 ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも） ③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも） ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード http://www.nl.it.go.jp/gobuild/ki_jun_kentikubuturiyou_tebiki.htm 内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。(改2.2.2)
	⑱ 足場類	― ―
	19 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。(改2.2.3)
	20 仮設備	仮設備を ・ 設ける（図示による） ○ 設けない (改2.14.1)
	21 工事用電力等	○ 既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償） ・ 発電機又は北陸電力引込み等 (改2.2.4)
	22 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ○ 設けない ・ 設ける[・ 1号（10m程度） ・ 2号（20m程度）] 2) 監督員事務所に設ける備品等 ― (改2.1.1(4)) ・ 保護帽 ・ 墜落制止用具 ・ 長靴 ・ 合羽 ・ 机 ・ 椅子 ・ 懐中電灯 ・ 書棚 ・ 黒板 ・ 寒暖計 ・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A3縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 共 通 事 項	⑳ 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	・ 設置する ○ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。 ―
	㉑ 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示版を設置する。（記入例） (2.1.1(ウ)) 上段の地色は白色 文字は青色 下段の地色は青色 文字は白色 この工事は、週休2日に取り組んでいます 設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。―
	㉒ 埋め戻し土	⊗ 根切り土の中の良質土（ただし、管の周囲は山砂） ・ 山砂 (2.2.1)
	㉓ 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等： ― ―
	㉔ 塗装	次の金属露出配管（垂鉛めっき面を含む）は、塗装を行う。(2.7.1) ○ 屋外 ○ 屋内 ○ 居室 ・ 機械室 ・ ）
	㉕ はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ⊗ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。） (改2.11.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。(改2.11.3) 3) 溝はつり深さは、図示による。(改2.11.4) 4) 防水箇所の貫通処理方法は図示による。 ― (改2.11.5) 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない (改2.12.3)
	㉖ あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探索の範囲及び方法は、図示による。 2) 施工後確認試験（引張試験）を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない
	㉗ 県内産材料	宝達志水町建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。 ―
	㉘ 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 受変電機器 ・ 自家発電装置 ○ 照明器具類 ○ 配電盤類 ・ 避雷針 ○ 通信機器 ・ 構内交換機器 ・ 接地材料 ・
	㉙ 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和3年改定）」による。 2) 請負契約約款第14条第3項に定める工事写真は次のとおり。 ○ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ○ 塗装工程 ・ 接地極埋設部 ○ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体内隠ぺい部 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 ―
	33 部分払いの対象工事材料	請負契約約款第37条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ― ・ 盤 ・ 配管、配線 ・
	㉚ 火災保険等	請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のとおり。（加入期間は着工日より引渡日まで） ⊗ 相立保険 ・ 建設工事保険

最終改訂 R7.10.1

●

一

般

共

通

事

項

③⑤

耐震施工

次に示す事項を除き、すべて独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」による。
(2-2.1.13(2)～(4))

1) 機器の設計用標準水平震度及び耐震クラスは図示による。図示がなければ次による。

設置場所	耐震安全性の分類（重要機器、一般機器共通）	
	特定の施設	一般の施設
	・ 耐震クラス S	○ 耐震クラス A
上層階、屋上及び塔屋	2. 0	1. 5 < 2. 0 >
中間階	1. 5	1. 0 < 1. 5 >
一階及び地下階	1. 0（1. 5）	1. 0

注1 設置場所の区分は、機器等を支持する床部分により適用し、天井面（上階床）より支持する機器等は直上階を適用する。

注2 上層階は、2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

注3（ ）内の値は水槽類（受水槽、高置水槽、消火関係水槽、オイルタンク等）、< >内の値は防振支持の機器（防振材・防振装置を介して設置される機器）に適用する。

2) 地域係数は1. 0とする。

3) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし水平地震力と同時に働くものとする。

4) 1kN以下の軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し据付け又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

③⑥

電気工士

500kW以上の自家用電気工作物においては第一種電気工士により施工を行うように努める。

③⑦

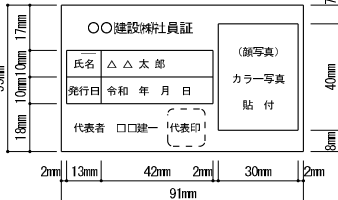
電線本数・
管路等

分電盤、制御盤、端子盤等の二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は機能を優先し、図面と多少相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督員の承諾を受ける。また、機械室の露出配線は、金属管にて施工し、全長にわたって接地線を設ける。

③⑧

名札の義務

請負金額10,000千円以上の元請工事の現場代理人及び主任（監理）技術者は顔写真付き名札を常時着用する。下記の寸法等は、参考であり、社員証等に替えることができる。



③⑨

退職金共済制度

受注者は建設業退職金共済制度に加入し、本工事の掛金収納書を工事請負契約締結後1ヵ月以内に監督員を通じて発注者に提出する。また、現場事務所に適用標識（シール）を掲示する。

④⑩

過積載等の
防止

1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませない。

2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませない。

3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長しないようにする。

4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずる。

5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び資材納入業者の利益を不当に害することのないようにする。

6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進する。

7) 1)から6)につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導する。

④⑪

景観への配慮

本工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく下記の事業であり、景観に配慮した施工に努める。

― 重点事業 ― ・ 一般事業

④⑫

総合評価方式に
おける技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく、「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。履行にあたり疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議する。

④⑬

電子納品

ⓧ 行う（「電子納品仕様書」による。） ・ 行わない ―

電子納品仕様書

1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ―

ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 ― ―

名 称
営繕工事電子納品要領（令和3年改定）
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】（令和4年改定）

基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html

2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBD-Rで1部納品する。

3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。
工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 共 通 事 項	④④ 公共事業労務費 調査の協力	受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負入を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。
	④⑤ 事故の補償	受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）
● 電 力 設 備	1 照明用ポール	内蔵する開閉器 ※ なし（取付板のみ） ・ 配線用遮断器 ・ カットアウトスイッチ (1.4.2(14))
	2 分電盤等	1) キャビネット材質、仕上げ ・ 鋼板製指定色塗装 ・ 鋼板製溶融亜鉛めっき (1.7.3) ・ ステンレス鋼板製指定色塗装 ・ 2) 電力量計 ・ 検定付 ・ 無検定 (1.7.6)
	3 電気自動車用 充電装置	・ 急速充電装置 ・ 普通充電装置（定格電圧 ・ 100V ・ 200V） (1.14.1)
	4 電線の接続	・ 高圧ケーブルの端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。 (2.1.1)
	5 配管引込部	地盤変位への対応 ※ 小規模 ・ 中規模 ・ 大規模 (2.1.13(5))
	6 導入線	長さ1m以上の通線しない配管には1.2m以上の樹脂被覆鉄線を挿入する。 (2.2.9(3))
	⑦ 管の埋設深さ	埋設深さは原則として、構内道路、高圧ケーブル、幹線ケーブルは (○) 60cm ・ cm)、その他は (○) 30cm ・ cm) とする。 (2.12.2)
	⑧ 標識シート等	1) 地中配線に標識シート（倍折）を敷設する。 (2.12.4) 2) 埋設標（・ コンクリート製 ・ 樹脂製 ・ 鉄製）・要（図示箇所） ・ 不要 (2.12.5)
	9 雷保護接地極	・ 版状 ・ 垂直 ・ 水平 ・ 環状 ・ 網状 ・ 構造体利用 (2.17.4)
	⑩ 施工の試験	1) 構造体利用等の接地極における接地抵抗測定の時期及び回数（ ― ） (2.18.2) 2) 一般照明の照度測定を (○) 行う（改修は対象室の改修前後） ・ 行わない (改2.1.1)
○ 受 変 電 設 備	1 キュービクル式 配電盤等	1) キャビネット材質、仕上げ及び電力量計は、電力設備の分電盤等による。 (1.1.3) (1.1.5) 2) 温度上昇性能試験を ・ 行う ※ 行わない (1.9.1)
	2 交流遮断器	操作方式 ・ 手動ばね操作方式 ・ 電気操作方式 (1.1.6(1))
	3 高圧進相 コンデンサ等	1) 進相コンデンサ絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド ・ ガス（SF6を除く） (1.1.6(3)) 2) 直列リアクトル絶縁方式 ・ 油入 ・ モールド (1.1.6(4))
○ 電 力 貯 蔵 設 備	1 交流無停電 電源装置	・ 常時インバータ給電方式 ・ ラインインタラクティブ方式 ・ 常時商用給電方式 (2.2.1) 停電補償時間 分 (2.2.7)
	2 電力平準化用 蓄電装置	1) 機能（電力平準機能・電力補償機能及び放電停止機能）は図示による。 ― (2.3.1(2)) 2) 蓄電池 ※ リチウム二次電池 ・ 鉛蓄電池 (2.3.5(1)) 3) 蓄電池の容量、期待寿命、充放電回数及び放電時間は図示による。 (2.3.5(2))
	○ 発 電 設 備	1 ディーゼル 発電装置
● 通 信 ・ 情 報 設 備	2 太陽光発電装置 ―	1) 自立運転を ・ 行う ・ 行わない (1.7.1(3)) 2) 太陽電池アレイの公称出力は、図示による。 (1.7.2(2))
	3 その他	1) 燃料油の種類及び配管等材料は、図示による。 (1.1.7.1) (1.1.8) 2) 系統連系を ・ する ・ しない (1.4.1(α))等
	1 端子盤等	キャビネット材質及び仕上げは、電力設備の分電盤等による。 (1.4.2)
○ 中 央 監 視 制 御 設 備	② 機器仕様	詳細機器仕様は、図示による。 (1.5.1)等
	③ 標識シート等	標識シート等は、電力設備の標識シート等による。 (2.11.3) (2.11.4)
	4 テレビ 共同受信設備	受信調査を ・ 行う（ チャンネル） ・ 行わない (2.19.3)
	1 警報盤	信号の伝送方式は、図示による。 (1.2.1)
	2 記録装置	印字方式は、図示による。 ― (1.4.4)

○
そ
の
他

1 接地極

接地極の材料は下記による。なお接地棒EB(14φ)の長さは1,500mm以上とし、10φは、
W=30 L=900mm以上、14φはW=40 L=1,200mm以上 としてもよい。

接 地 の 種 類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同 接 地	EA EB EC ED	Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 粗
			・ EP-900 × 1
・ 共 同 接 地	EA EC ED	Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 粗
			・ EP-900 × 1
・ A 種	EA	10 Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 2 粗
			・ EP-900 × 1
・ B 種	EB	Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 2 粗
			・ EP-900 × 1
・ C 種	EC	10 Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 粗
			・ EP-900 × 1
・ D 種	ED	100 Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
			EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ D種 ELB用	ED ELCB	100 Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
			EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ 高圧避雷器	ELH	10 Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 2 粗
			・ EP-900 × 1
・ 低圧避雷器	ELL	10 Ω 以下	・ EB (14φ) × 3連— 2 粗
			・ EP-900 × 1
・ 雷保護設備	EL	50 Ω 以下	・ EB (14φ) × 2連— 2 粗
			・ EP-600 × 2
・ 構造体接地			
・ 交 換 機 用	Et	Ω 以下	EB (14φ) × 3連— 粗
			・ EB (14φ) × 3連— 2 粗
・ 通 信 用	EAt	10 Ω 以下	・ EP-900 × 1
			EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ 通 信 用	EDt EDa	100 Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
			EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
・ 測 定 用	E0		EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
			EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)

(別表－1) 他工事との取り扱い

工 事 内 容		電気	機械	建築	備 考
開口部	はり、床、壁の貫通部（RC造）	補 強 筋		●	建築図面に図示
		スリーブ、仮枠、穴埋共	●		S造は建築
	埋込形分電盤、端子盤、ブルボックス	補 強 筋		●	建築図面に図示
		仮 枠	●		
	天井、壁ボード類の軽量鉄骨下地補強（埋込形照明器具用）	下 地 補 強		●	建築図面に図示
		ボ ー ド 類 切 込 み	●		
軽量鉄骨へのボックス取付金具及びその取付		●			
既成間仕切りへの位置ボックス及びその取付				●	
発電機、配電盤及び制御盤等の基礎				●	建築図面に図示
避雷針、T/Vアンテナの屋上コンクリート基礎（自立型の場合）				●	建築図面に図示
配管ビット及びふた				●	
床、壁、天井の点検口				●	建築図面に図示
自動扉、電動シャッター、防火ドア等制御盤の一次側配管配線		●			※1
実験台付扉コンセント等への配管配線及び配線接続（直接接続のみ）		●			
機械設備機器付属の制御盤への電源供給の配管配線		●			一次側
機械設備機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）			●		二次側
制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線		●			
機械設備機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線		●			天吊FQJ、換気扇等

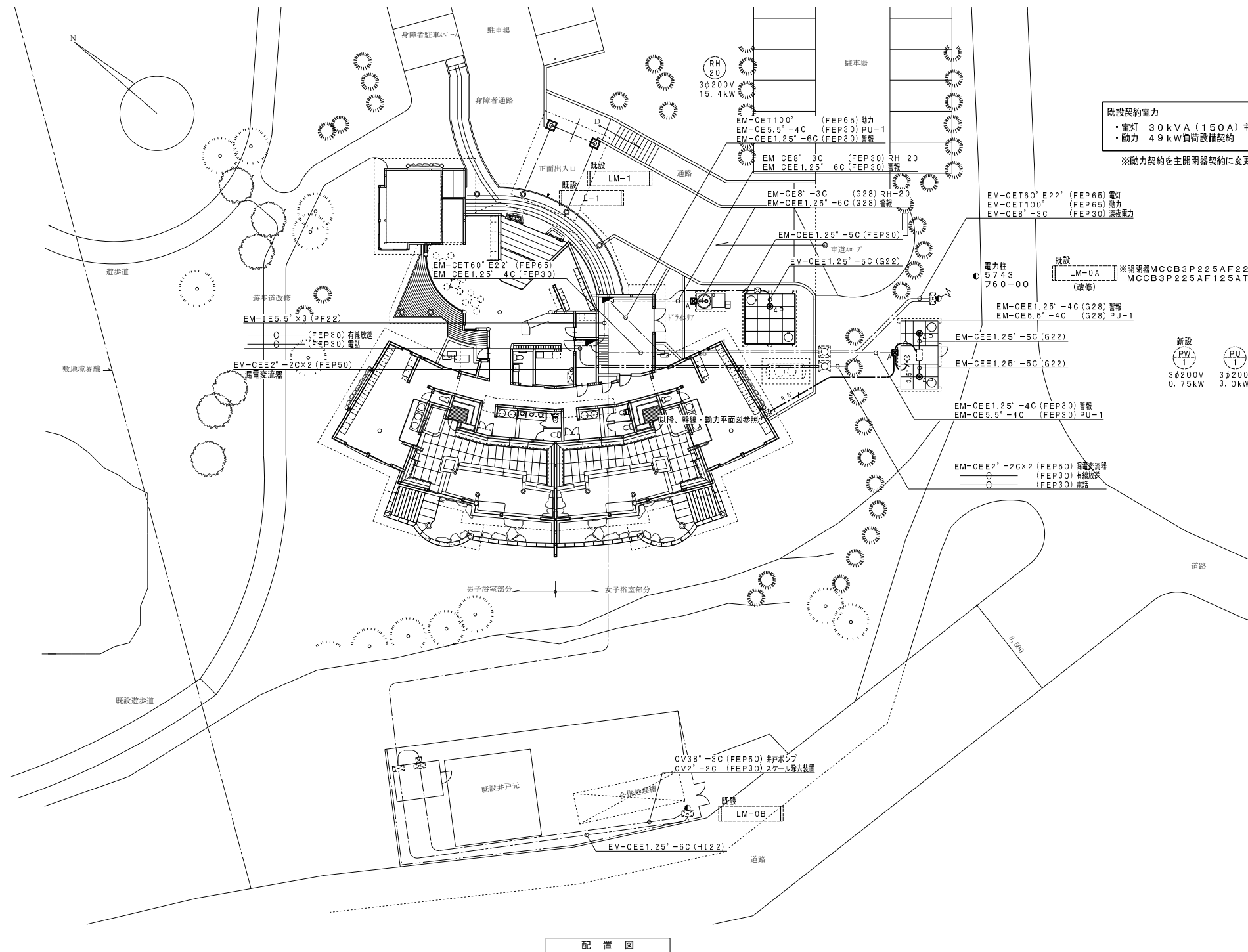
※1 二次側配線、配管及びシャッター、防火ドア、自動扉は建築工事

記 号	名 称	規 格
●	引込柱	
☒	引込壁	
Ⓜ	電灯動力壁	
Ⓛ	電灯壁	
Ⓢ	端子壁	
☐	ハンドホール	
Ⓜ _A	ブルボックス	SS300°×300WP-SUS
Ⓢ	電極	

1. 図中不明な配管記号は下記の通りとする。	
	EM-CE 3.6°-4C (FEP30)
	EM-CE 3.6°-4C (G28)
	地中埋設配管 露出配管
2. 図中太線の機器、配管記号は新設とする。	
3. 電動機の接続力は可とう電線管を使用すること。	
4. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いよう細心の注意を払い施工すること。	

新設

設備名	電圧	容量
新設	3φ200V	0.75kW
新設	3φ200V	3.0kW



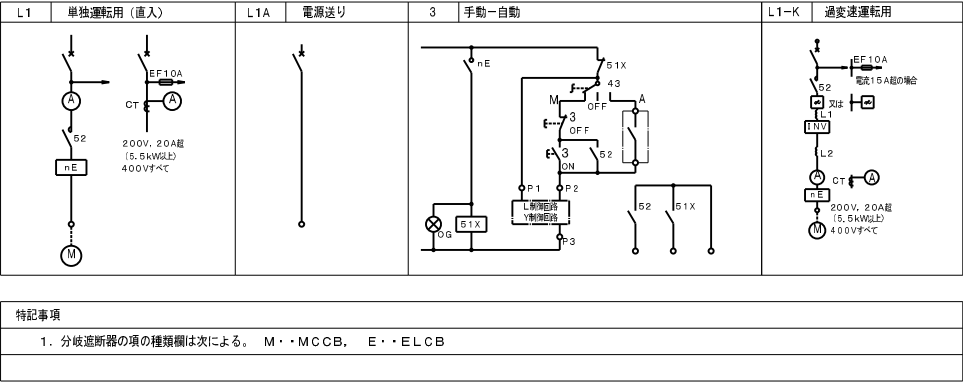
[illegible]

動力盤結線図（改修前）

盤 型 式	幹線番号 合計容量	電 線 電源仕様	負 荷				分岐開閉器				制 御 盤		遠 方		備 考			
			結 線 方 式	負荷名称	記 号	回路番号	出力 KW	種 別	P	A F	A T	発 表 示		発 表 示				
												停 運	停 故	満 減	停 運	停 故	満 減	
既設 LM-1 (露出、自立型)	EM-CE5.5'-30C 0.374kW	AC1φ3W100/200V																
			L1A	しぶき加温機	HH-1	①	0.240	MCCB	2	50	50							
			L1A	薬注ポンプ	CL-1	②	0.075	MCCB	2	50	50							
		L1A	水中ポンプ			0.400	MCCB	2	50	20								
		L1A	フロートレススイッチ電源				MCCB	2	50	20								

動力盤結線図（改修後）

盤 型 式	幹線番号 合計容量	電 線 電源仕様	負 荷				分岐開閉器				制 御 盤		遠 方		備 考			
			結 線 方 式	負荷名称	記 号	回路番号	出力 KW	種 別	P	A F	A T	発 表 示		発 表 示				
												停 運	停 故	満 減		停 運	停 故	満 減
既設 LM-1 (露出、自立型)	EM-CE5.5' -30C 0.374 kW	AC1φ3W100/200V																
			L1A	しぶき加温機	HH-1	①	0.240	MCCB	2	50	50							
			L1A	薬注ポンプ	CL-1	②	0.075	MCCB	2	50	50							
		L1A	水中ポンプ			0.400	MCCB	2	50	20								
		L1A	フロートレススイッチ電源				MCCB	2	50	20								



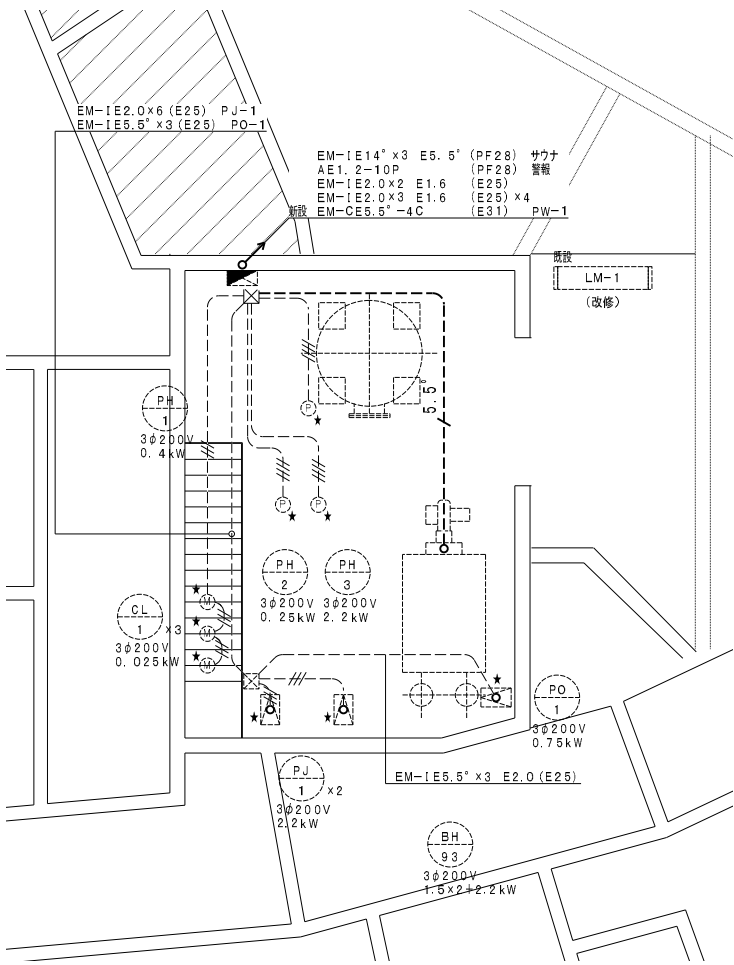
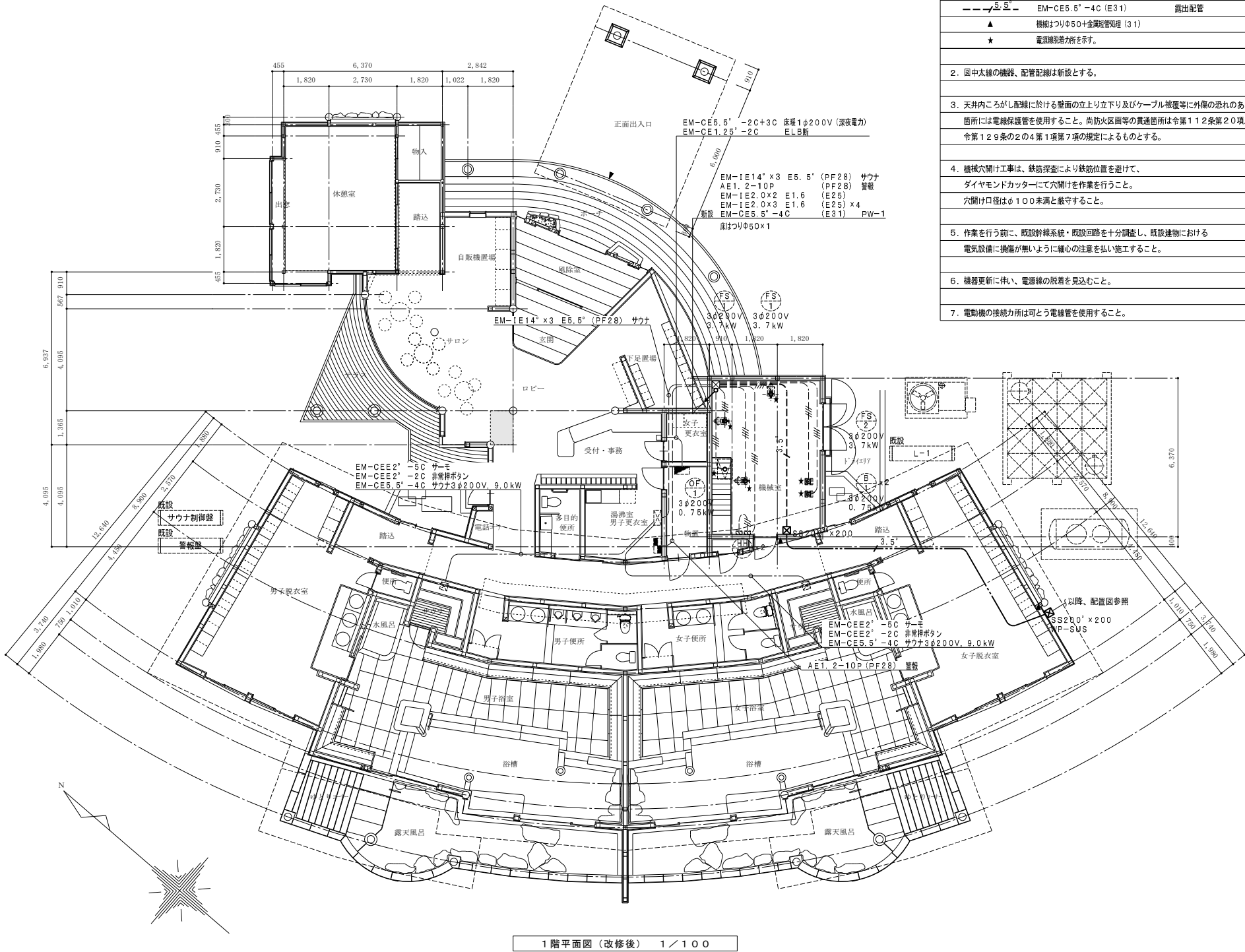
工事概要
・既設機器更新に伴い電源の脱着を行う。
・補給水ポンプ新設に伴い配線配管を新設する。

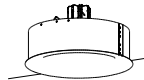
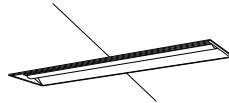
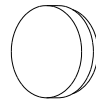
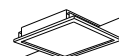
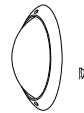
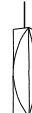
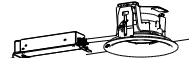
凡 例

記 号	名 称	規 格
電灯盤		
電灯動力盤		
監視盤 15L 壁掛型		
サウナ盤		
ブルボックス	サイズ、仕様は傍記による	

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。
(a) 動力設備 (改修後)
--- 3.5 --- EM-CE3.5'-4C (E31) 露出配管
--- 3.5 --- EM-CE3.5'-4C 天井内こがし配線
--- 3.5 --- EM-CE5.5'-4C (E31) 露出配管
▲ 機械はつりφ50+金属管配線 (31)
★ 電源脱着力所を示す。
2. 図中太線の機器、配管記線は新設とする。
3. 天井内こがし配線に於ける壁面の立上り立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探索により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開け作業を行うこと。
穴開け口径はφ100未満と厳守すること。
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。
6. 機器更新に伴い、電源線の脱着を見込むこと。
7. 電動機の接続力所は可とう電線管を使用すること。



A	LED照明器具 ダウンライト	B	LED直付天井灯	C	LED直付天井灯 逆富士型 W150	D	LED直付天井灯 逆富士型 W150	E1	LED直付天井灯	E2	LED直付天井灯 非常用照明一体型	F	LED建築化照明									
	550形 (FHT42形3灯相当)		Hf32形高出力型1灯相当		Hf32形定格出力型1灯相当		Hf16形高出力型2灯相当		Hf32形高出力型1灯相当		Hf32形高出力型1灯相当											
	電球色 (3000K)、Ra85、電圧100V~242V 光束4705lm、消費電力39.4W  埋込穴：φ450 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) 反射板・枠：アルミ (ホワイトつや消し仕上) NYY56538Z	電球色 (3000K)、Ra83、光束2940lm 消費電力20.3W、電圧100V~242V  本体：銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) LSS12-4-27-30K	昼白色 (5000K)、Ra83、光束2500lm 消費電力16.3W、電圧100V~242V  本体：銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) LSS9-4-23LN	昼白色 (5000K)、Ra83、光束3200lm 消費電力20.1W、電圧100V~242V  本体：銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) LSS9-2-30LN	昼白色 (5000K)、Ra83、光束3200lm 消費電力20.3W、電圧100V~242V  本体：銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) LSS1-4-30LN	昼白色 (5000K)、Ra83、光束3200lm 消費電力21.4W、電圧100V~242V  非常灯評定番号：LALÉ-027 自己点検スイッチ付 K1-LSS1-4-30LN	電球色 (2700K)、Ra83、光束3760lm 消費電力37.0W、電圧100V  位相制御式 (2線式) L1200タイプ LGB50291XB1	G	LED照明器具 埋込下面開放 W220	H1	LED照明器具 ダウンライト	H2	LED照明器具 ダウンライト	I	LED照明器具 ダウンライト	J	LED浴室灯	K	LED照明器具 ミラーライト W620	L1	LED照明器具 埋込型 スクエア型	
	Hf32形高出力型2灯相当		150形 (FHT32形相当)		200形 (FHT42形相当)		100形 (FDL27形相当)						FHP23形×3灯相当									
	昼白色 (5000K)、Ra83、光束4000lm 消費電力25.0W、電圧100V~242V  本体：銅板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) LRS3-4-37LN	電球色 (3000K)、Ra95、器具光束1280lm 消費電力11.6W、電圧100~242V  埋込穴φ150 拡散配光 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部)：銅板 (ホワイトつや消し仕上) 枠：銅板 (ホワイトつや消し仕上) XND1567WELE9	電球色 (3000K)、Ra95、器具光束1560lm 消費電力15.0W、電圧100~242V  埋込穴φ150 拡散配光 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部)：銅板 (ホワイトつや消し仕上) 枠：銅板 (ホワイトつや消し仕上) XND2067WELE9	電球色 (3000K)、Ra85、器具光束975lm 消費電力7.0W、電圧100~242V  埋込穴口150 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) 反射板：アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上) 枠：木製 (白木) XND1090JLLE9	電球色 (2700K)、Ra84、器具光束1520lm 消費電力51.6W、電圧100V  防湿・防雨型 φ467、171d 本体：アルミ (クールホワイトつや消し仕上) グローブ：アクリル (乳白) NNN16440	電球色 (3000K)、Ra83、器具光束1265lm 消費電力11.7W、電圧100V  カバー：プラスチック (乳白) サイドカバー：プラスチック (ホワイトつや消し) NNN13513LE1	電球色 (3000K)、Ra83、器具光束2240lm 消費電力19.0W、電圧100~242V  埋込穴口350 本体：銅板 (高反射白色粉体塗装) 枠：木製 (白木) パネル：アクリル (乳白) XL563PJTLA9	L2	LED照明器具 埋込型 スクエア型	M		N	LED照明器具 ウォールライト	O	LED照明器具 座間灯	P	LED照明器具 軒下用シーリングライト	Q	LED照明器具 ウォールライト	R	LED照明器具 棚下灯	
	FHP23形×4灯相当								100形													
	電球色 (3000K)、Ra83、器具光束2840lm 消費電力24.0W、電圧100~242V  埋込穴口350 本体：銅板 (高反射白色粉体塗装) 枠：木製 (白木) パネル：アクリル (乳白) XL564PJTLA9			電球色 (2700K)、Ra90、器具光束332lm 消費電力7.4W、電圧100V  防雨型 カバー：ガラス (乳白) LGW85055BF	電球色 (3000K)、Ra85、器具光束690lm 消費電力11.5W、電圧100V  防雨型 本体：アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) パネル：アクリル (透明) YYY87744LE1	電球色 (3000K)、Ra85、器具光束825lm 消費電力9.9W、電圧100~242V  防雨型 本体：アルミダイカスト (ブラックつや消し仕上) パネル：アクリル (透明つや消し) NNN54540B	電球色 (2700K)、Ra83、器具光束455lm 消費電力7.7W、電圧100V  防雨型 本体：アルミダイカスト (オフブラック) カバー：アクリル (乳白) XLGE800TCE1	昼白色 (5000K)、Ra83、器具光束980lm 消費電力12.0W、電圧100V  天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック (乳白) タッチレススイッチ付 LGB52085LE1	S		T		U	LEDペンダント	V	LED照明器具 軒下用ダウンライト						
							60形 (1L60形相当)															
				電球色 (2700K)、Ra84、器具光束2965lm 消費電力25.8W、電圧100V  引掛シーリング方式 セード：手もみ紙張り コードハンガー付、丸型フランジ付 LGB19280K	電球色 (3000K)、Ra85、器具光束545lm 消費電力15.0W、電圧100~242V  埋込穴φ150 反射板 (上部)：プラスチック (ホワイト) 枠：銅板 (ホワイトつや消し仕上) パネル：アクリル (透明) XNW0663WLLLE9																	

※1. 図中の器具型番・器具光束・消費電力は参考とする。
※2. 内機更新器具 (既設使用) については、クリーニングを行う事。
※3. 既設埋込照明器具の開口寸法・仕様については現地確認を行い、納入仕様書作成する事。
※4. 色温度は、プラン図を作成し、発注前に監督員と協議を行う事。

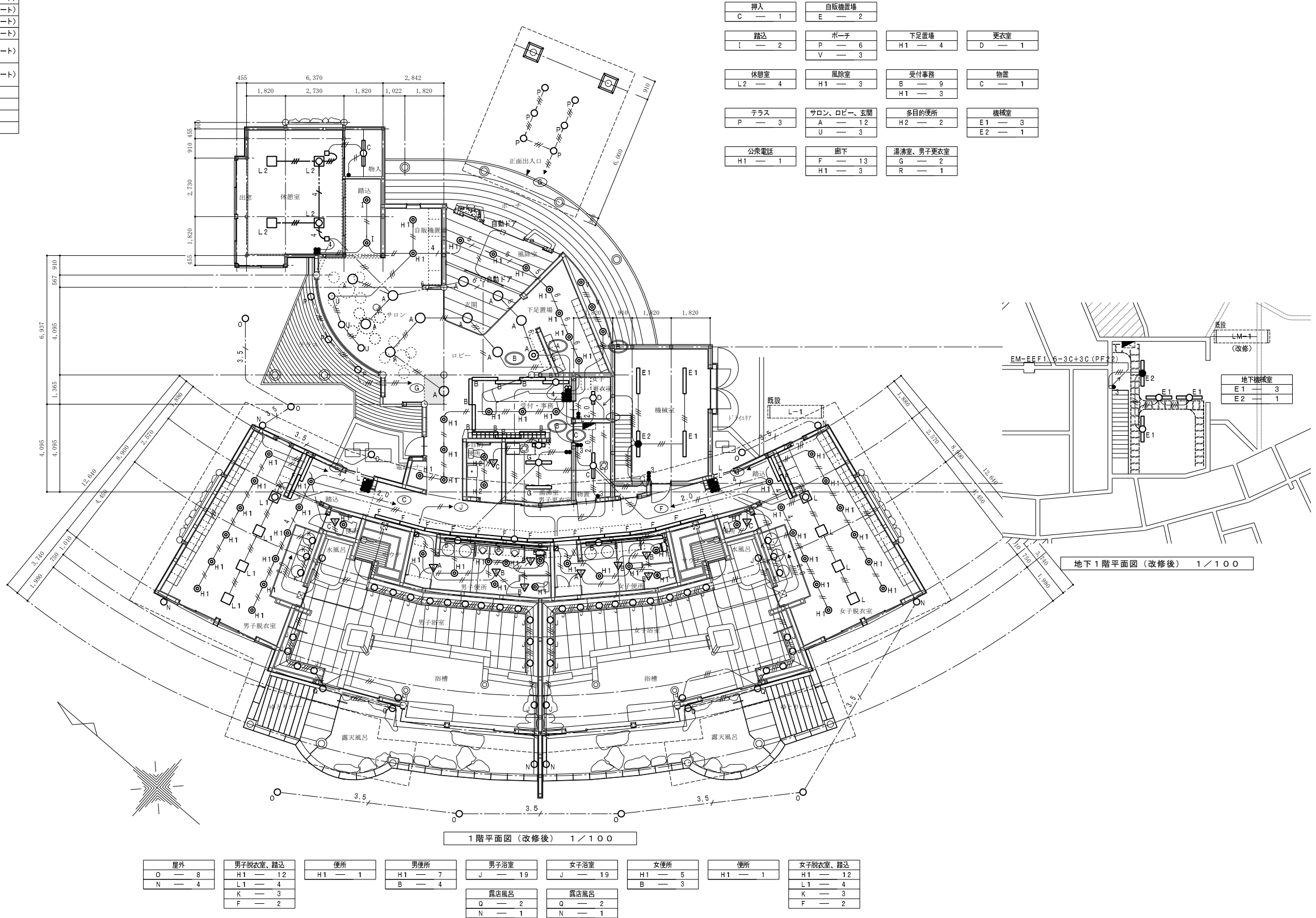
凡 例

記 号	名 称	規 格
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×2 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×4 (樹脂プレート)
●L	タンブラスイッチ	1P15A×1+1P4AL×1 (樹脂プレート)
●S	タンブラスイッチ	3W15A×1 (樹脂プレート)
●S	タンブラスイッチ	1P15A×1+3W15A×1 (樹脂プレート)
●S	タンブラスイッチ	1P15A×2+3W15A×1 (樹脂プレート)
L	タンブラスイッチ	1P15A×9+1P4AL×2+PL×1 (樹脂プレート)
●●	タンブラスイッチ	1P15A×11+PL×2 (樹脂プレート)
▽A	人感センサー (天井)	観機
▽B	人感センサー (天井)	子機
▽C	人感センサー (天井)	観機 (換気扇連動)
□	人感センサー制御	手動操作ユニット 1回路用

注 記

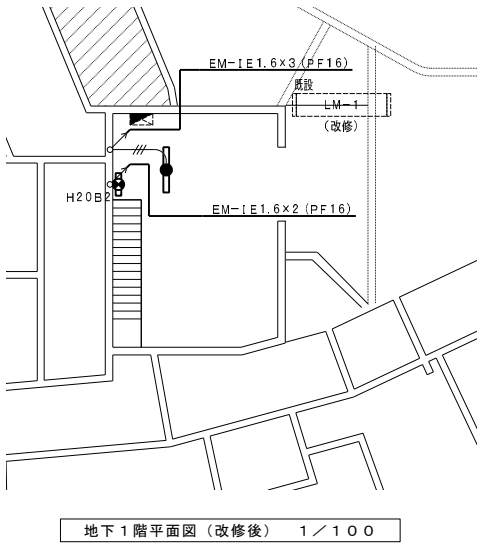
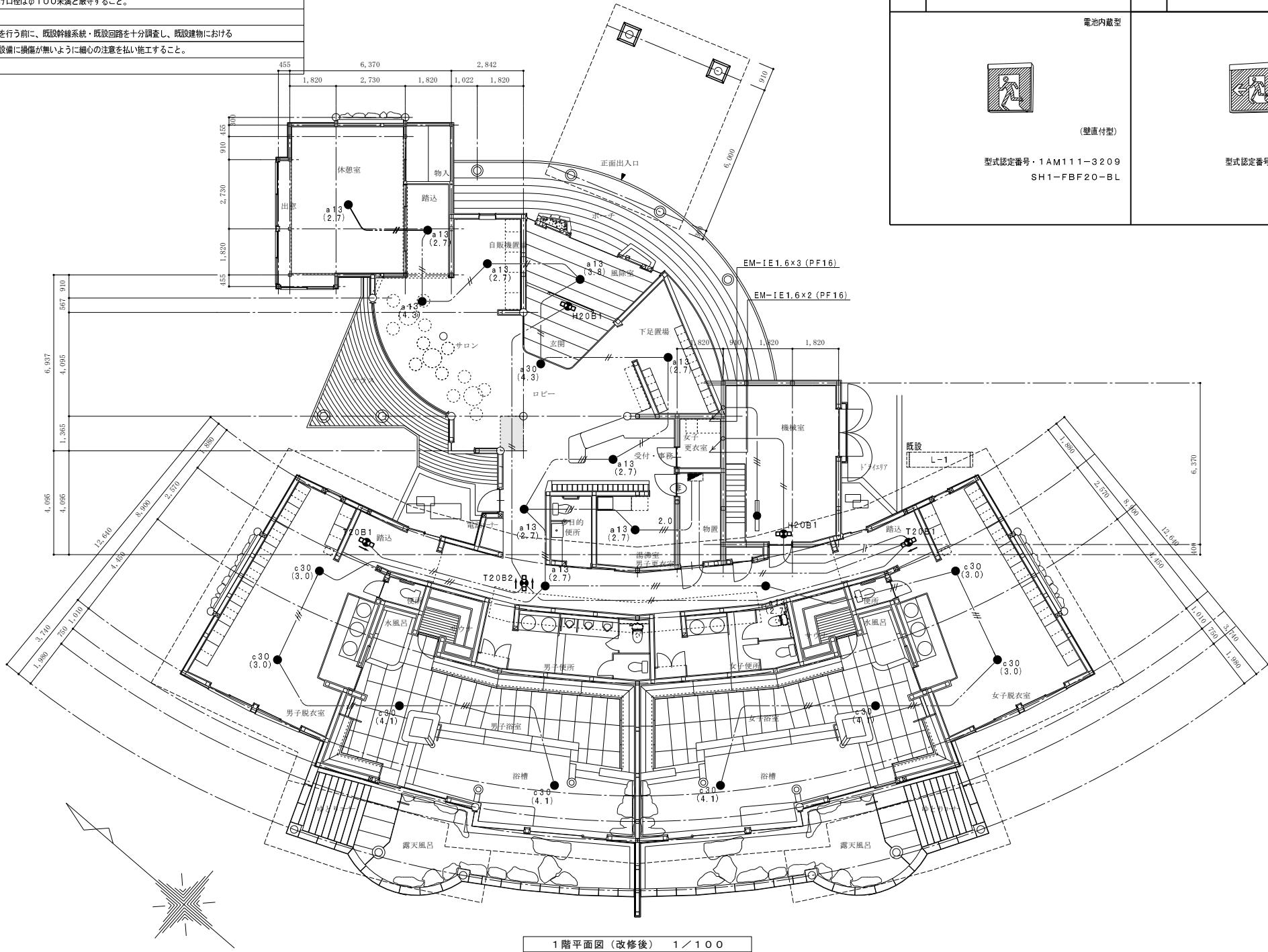
1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。
(a) 電灯設備 (改修後)
EM-EEF 1.6-3C 天井内こがし配線
EM-EEF 1.6-2C×2 天井内こがし配線
2. 図中太線の機器、配管配線は新設とする。
3. 天井内こがし配線に於ける壁面の立より立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探査により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開けを作業を行うこと。穴開け口径はφ100未満と厳守すること。
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。
6. 高所作業においては移動式足場2段(7日間)を見込むこと。

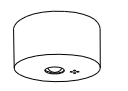
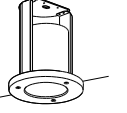
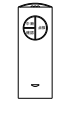
工事概要
・既設照明器具を撤去しLED照明器具を新設する。



注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 非常照明、誘導灯設備		
	EM-EFF 1.6-2C	天井内こしがし配線
	EM-EFF 1.6-3C	天井内こしがし配線
	EM-EFF 2.0-2C	天井内こしがし配線
	EM-EFF 2.0-3C	天井内こしがし配線
	EM-IE1.6x2 (PF16)	天井隠ぺい配管
	EM-IE1.6x2 (E19)	露出配管
2. 図中太線の機器、配管配線は新設とする。		
3. 天井内こしがし配線に於ける壁面の立上り立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。		
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探査により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開け作業を行うこと。 穴開け口径はφ100未満と厳守すること。		
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		



a13	LED非常照明 埋込型	a30	LED非常照明 埋込型	b30	LED非常照明 直付型	c30	LED非常照明 埋込型		自己点検用リモコン送信機
	ハロゲン電球13W×1相当		ハロゲン電球30W×1相当		ハロゲン電球30W×1相当		ハロゲン電球30W×1相当		
 埋込穴: φ100 公共施設型番: K1-LRS11-2 評定番号: LALE-004		 埋込穴: φ100 公共施設型番: K1-LRS11-3 評定番号: LALE-006		 公共施設型番: K1-LSS11-3 評定番号: LALE-006		 埋込穴: φ150 評定番号: LALE-008		 乾電池式 チャンネルスイッチ付き	
H20B1	B級・BL形(20B形)避難口 誘導灯 片面型	H20B2	B級・BL形(20B形)避難口 誘導灯 片面型	T20B1	B級・BL形(20B形)通路 誘導灯 片面型	T20B2	B級・BL形(20B形)通路 誘導灯 両面型		
	 (壁直付型) 型式認定番号・1AM111-3209 SH1-FBF20-BL		 (壁直付型) 型式認定番号・1AM111-3209 SH1-FBF20-BL		 (天井直付型) 型式認定番号・1AM111-3209 ST1-FBF22-BL		 (天井直付型) 型式認定番号・1AM221-3620 ST1-FSF23-BL		

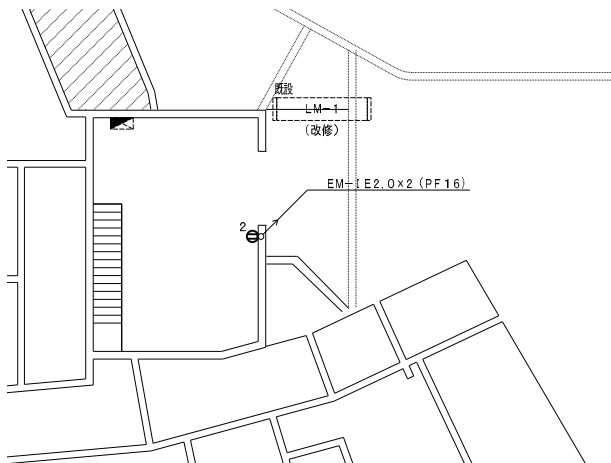
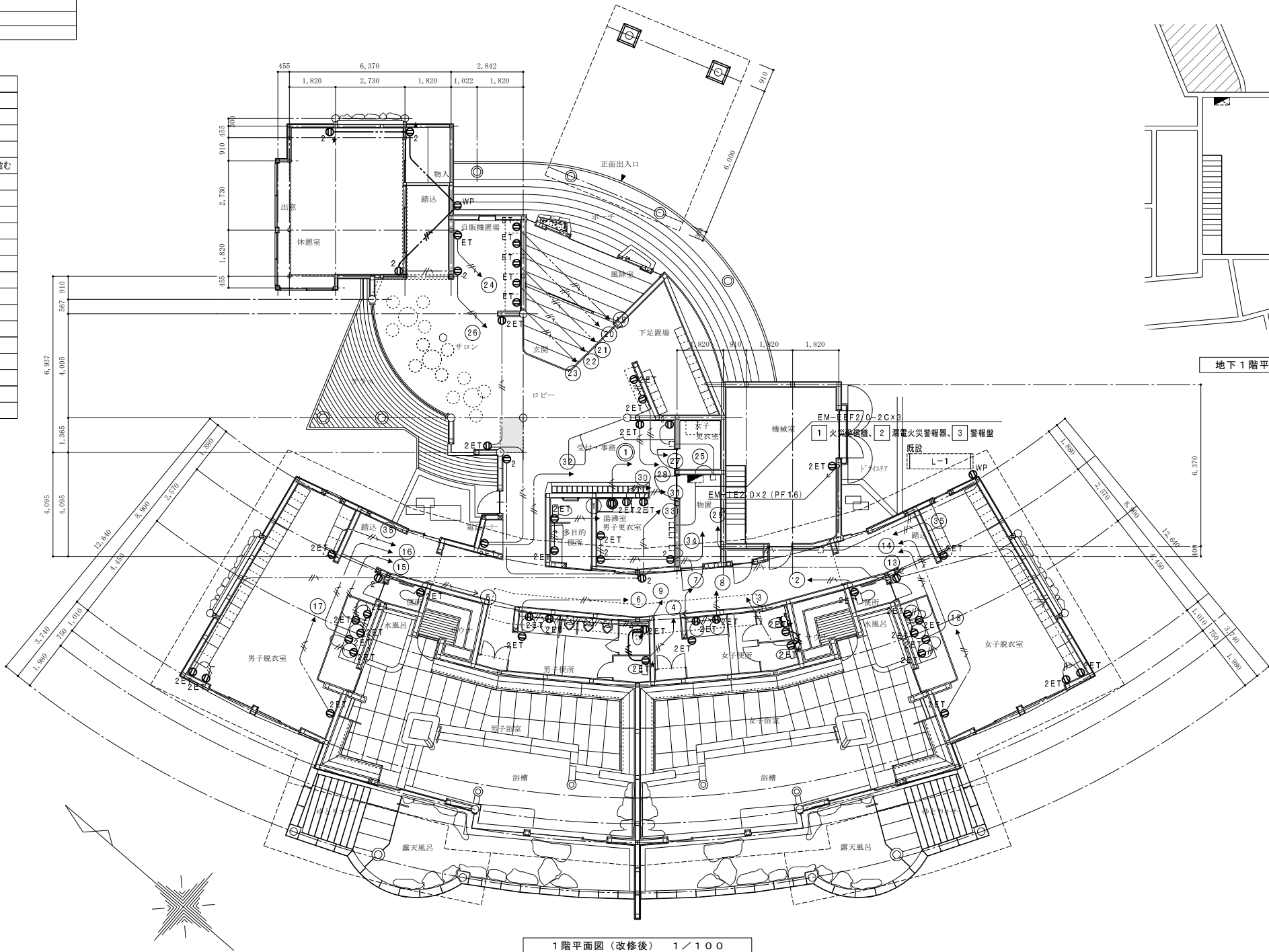
工事概要
・既設非常用照明、誘導灯を撤去し
LED非常用照明、誘導灯を新設する。

凡 例

記 号	名 称	規 格
②	埋込コンセント	2P15A×2
②ET	埋込コンセント	2P15A×1 接地端子付
②ET	埋込コンセント	2P15A×2 接地端子付
②	埋込コンセント	2P20A×1 接地端子付 250V
②WP	防雨コンセント	2P15A×2 接地端子付

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) コンセント設備 (改修後)		
-----	EM-EEF2.0-2C	天井内ころがし配線
-----	EM-EEF2.0-3C	天井内ころがし配線
-----	EM-IE2.0×3 (PF22)	天井内隠ぺい配管
★	1種金属び (A形)	コーナーボックス・スイッチボックス含む
2. 図中太線の機器、配管配線は新設とする。		
3. 天井内ころがし配線に於ける壁面の立上り立下り及びケーブル束等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。		
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探索により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開けを作業を行うこと。 穴開け口径はφ100未満と厳守すること。		
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		



地下1階平面図 (改修後) 1 / 100

1階平面図 (改修後) 1 / 100

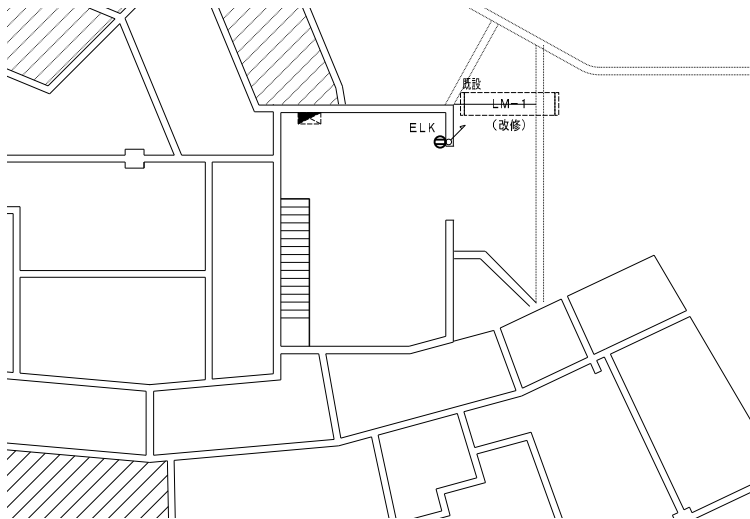
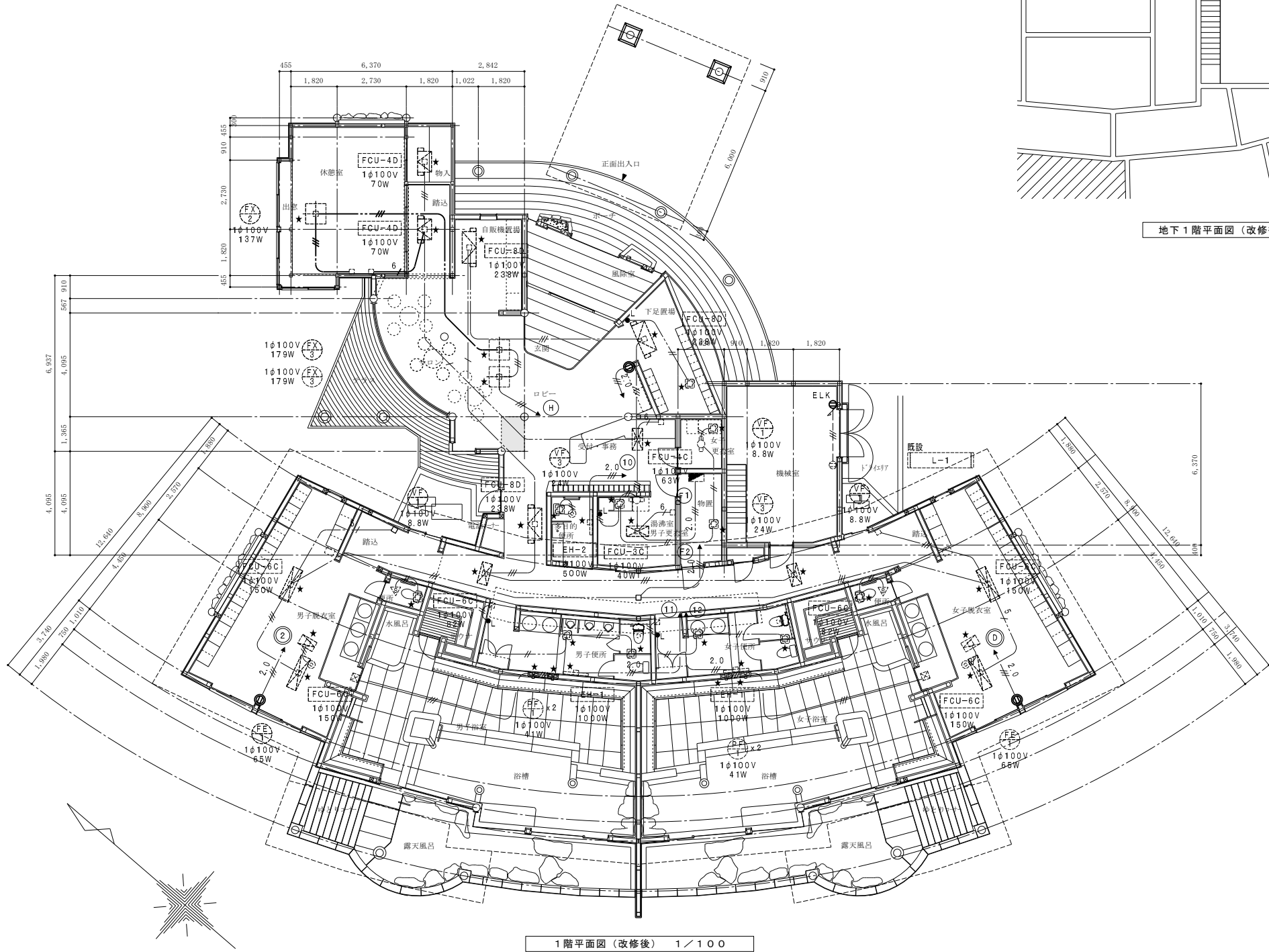
工事概要
・既設配線器具の更新を行う。
・温水便座用コンセントの増設を行う。

凡 例

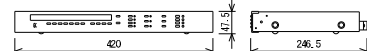
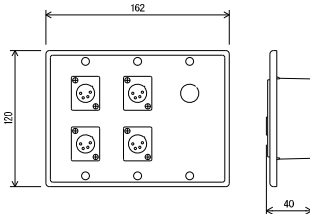
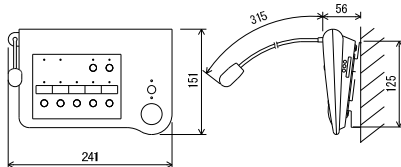
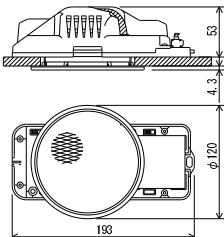
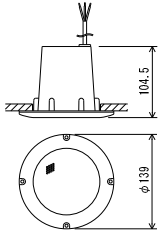
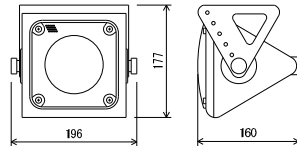
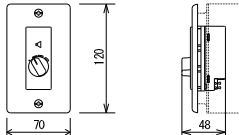
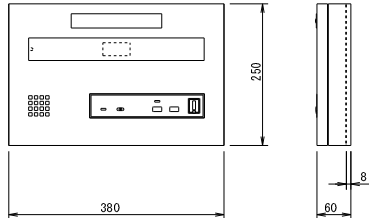
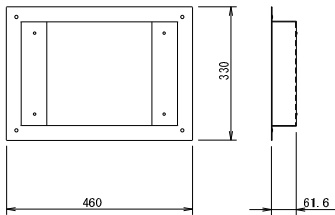
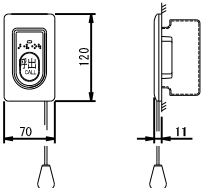
記 号	名 称	規 格
①	埋込コンセント	2P20A×1 接地極付 250V
①ELK	埋込コンセント	抜け止め形2P15A×1 接地極付
●L	タンブラスイッチ	1P4AL×1 (樹脂プレート)

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。
(a) 空調、換気電源設備 (改修後)
——— EM-EFF 1.6-2C 天井内ころがし配線
——— EM-EFF 1.6-3C 天井内ころがし配線
——— EM-EFF 2.0-2C 天井内ころがし配線
——— EM-EFF 2.0-3C 天井内ころがし配線
——— EM-IE1.6×2 (PF16) 天井隠へい配管
——— EM-CEE2' -6C (PF22) 天井隠へい配管
——— EM-IE2.0×3 (E25) 露出配管
★ 電源線脱着力所を示す。
2. 図中太線の機器、配管配線は新設とする。
3. 天井内ころがし配線に於ける壁面の立上り立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探索により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開け作業を行うこと。 穴開け口径はφ100未満と厳守すること。
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。
6. 空調機器、換気機器更新に伴い、電源線の脱着を見込むこと。



工事概要
・既設配線器具の更新を行う。
・機器更新に伴い、電源線の脱着を行う。

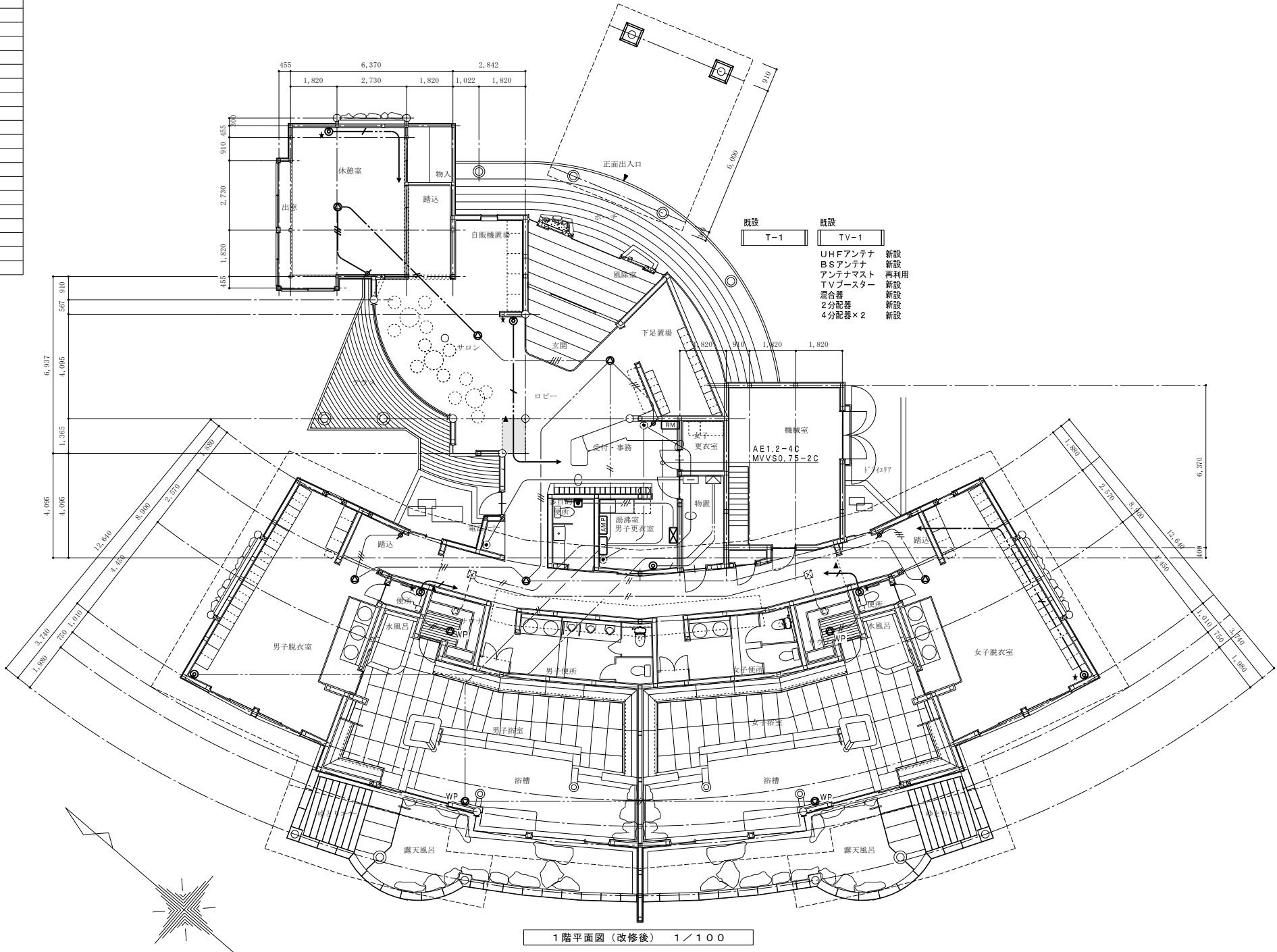
[AMP]卓上型アンプ		[AMP]プログラムタイマー		[J]ジャック盤		[RM]リモートマイク																															
※オーディオラック再利用																																					
<table><tr><td>電源</td><td>AC100V 50/60Hz 消費電力3W</td></tr><tr><td>表示</td><td>曜日、時、分</td></tr><tr><td>出力</td><td>4系統 無電圧メイク接点</td></tr><tr><td>プログラム容量</td><td>30ステップ/出力</td></tr><tr><td>停電補償</td><td>約100時間</td></tr></table>		電源	AC100V 50/60Hz 消費電力3W	表示	曜日、時、分	出力	4系統 無電圧メイク接点	プログラム容量	30ステップ/出力	停電補償	約100時間	[AMP]CD/SD/USBプレーヤー		<table><tr><td>コネクタ</td><td>スピーカー用：XLR-4-32F77 ×2</td></tr><tr><td></td><td>リモートマイク用：XLR-4-32F77 ×2</td></tr><tr><td></td><td>大穴プラグチップ</td></tr><tr><td></td><td>新金属プレート3連</td></tr></table>		コネクタ	スピーカー用：XLR-4-32F77 ×2		リモートマイク用：XLR-4-32F77 ×2		大穴プラグチップ		新金属プレート3連	<table><tr><td>電源</td><td>DC12V～24V</td></tr><tr><td>マイク</td><td>単一指向性エレクトレットコンデンサー型</td></tr><tr><td>スピーカー制御</td><td>5局一斉</td></tr><tr><td>機能</td><td>グループ放送制御、通常/緊急一斉放送制御、</td></tr><tr><td>仕上</td><td>ケース：樹脂 プラントグレー</td></tr></table>		電源	DC12V～24V	マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型	スピーカー制御	5局一斉	機能	グループ放送制御、通常/緊急一斉放送制御、	仕上	ケース：樹脂 プラントグレー		
電源	AC100V 50/60Hz 消費電力3W																																				
表示	曜日、時、分																																				
出力	4系統 無電圧メイク接点																																				
プログラム容量	30ステップ/出力																																				
停電補償	約100時間																																				
コネクタ	スピーカー用：XLR-4-32F77 ×2																																				
	リモートマイク用：XLR-4-32F77 ×2																																				
	大穴プラグチップ																																				
	新金属プレート3連																																				
電源	DC12V～24V																																				
マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサー型																																				
スピーカー制御	5局一斉																																				
機能	グループ放送制御、通常/緊急一斉放送制御、																																				
仕上	ケース：樹脂 プラントグレー																																				
[AMP]電源 定格出力 入力 出力制御 機能		[AMP]電源 定格出力 入力 出力制御 機能		[J]電源 定格出力 入力 出力制御 機能		[RM]電源 定格出力 入力 出力制御 機能																															
電源 AC100V 50/60Hz 定格出力 60W 入力 ベージングマイク、リモートマイク×1、 入力1、2 (マイク、ライン、優先切換) 出力制御 5局一斉 (通常、緊急) 機能 呼出チャイム内蔵、非常遮断		電源 DC24V (ACアダプターから供給) 周波数特性 20Hz～20kHz 出力 ライン、ヘッドホン 再生メディア CD、CD-R、CD-RW、SDカード、USBメモリー その他 再生モード、プログラム再生機能		電源 DC24V (ACアダプターから供給) 周波数特性 20Hz～20kHz 出力 ライン、ヘッドホン 再生メディア CD、CD-R、CD-RW、SDカード、USBメモリー その他 再生モード、プログラム再生機能		電源 DC12V～24V マイク 単一指向性エレクトレットコンデンサー型 スピーカー制御 5局一斉 機能 グループ放送制御、通常/緊急一斉放送制御、 仕上 ケース：樹脂 プラントグレー																															
[AMP]天井埋込型スピーカー		[AMP]天井埋込型スピーカー 防滴		[J]壁掛スピーカー 防滴		[RM]アッテネーター																															
																																					
[AMP]定格入力 出力音圧レベル 周波数特性 スピーカー 仕上 その他		[AMP]定格入力 出力音圧レベル 周波数特性 仕上 その他		[J]定格入力 出力音圧レベル 周波数特性 仕上 その他		[RM]入力容量 入力インピーダンス 音量調整 パネル 適合ボックス																															
定格入力 3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ) 出力音圧レベル 92dB (1W, 1m) 周波数特性 160Hz～18kHz スピーカー 8cmコン型 仕上 枠：樹脂 オフホワイト ネット：アルミエキスパンド オフホワイト その他 取付穴径：φ100mm、適合天井板厚：5～25mm		定格入力 3W (3.3kΩ), 1W (10kΩ) 出力音圧レベル 87dB (1W, 1m) 周波数特性 150Hz～20kHz 仕上 枠：樹脂 クロムめっき、パンチングネット：ステンレス スピーカー：8cm防滴コーン型、防水性能：IPX4 その他 JIS B 9926の測定において発塵せず (JIS清浄度クラス1を要求されるクリーンルームに使用可)		定格入力 5W (2kΩ) 出力音圧レベル 87dB (1W, 1m) 周波数特性 100Hz～12kHz 仕上 本体：樹脂 シルバーグレー パンチングネット：アルミ グレー その他 防水性能：IPX2		入力容量 0.5W～6W 入力インピーダンス 20kΩ～1.67kΩ 音量調整 5段階 パネル アルミプレート 適合ボックス JIS1個口用スイッチボックス																															
[AMP]1窓用呼出表示器		[AMP]1～5窓用取付枠		[J]呼出ボタン (引きひも付)																																	
																																					
[AMP]電源 形状 材質 窓数 表示方式		[AMP]形状 材質		[J]形状 材質 備考																																	
電源 AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V) 形状 壁取付形 材質 SPCC t1.2 窓数 1窓 表示方式 呼出音と表示窓点灯		形状 壁埋込形 (埋込ボックスは既設再利用) 材質 SPCC t1.6		形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文有																																	

凡 例

記 号	名 称	規 格
	端子盤	保安器20P
	電話受口 TELプレート	
	テレビ機器収納箱	
	UHFアンテナ	
	BSアンテナ	
	ブースター	
	混合器	
	2分配器	
	4分配器	
	テレビ端子	
	パワーアンプ CD/SD/USBプレーヤー プログラムタイマー 同上収納ラック	60W 卓上型 既設再利用
	リモコンマイク	
	天井埋込型スピーカー 3W	◎ 配線、ボックス、スピーカーはサウナ工事
	天井埋込型スピーカー 3W	防滴形
	露出壁掛型スピーカー 5W	防滴形
	アッテネーター	
	ジャック盤	
	トイレ呼出装置 1窓	
	同上呼出押しボタン	

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。
(a) 電話設備 (改修後)
(PF22) 天井内隠ぺい配管
(b) テレビ共聴設備 (改修後)
EM-5C-FB 天井内ころがし配線
1種金属び (A形) コーナーボックス・スイッチボックス含む
(c) 拡声設備 (改修後)
EM-AE1.2-2C 天井内ころがし配線
EM-AE1.2-3C 天井内ころがし配線
EM-AE1.2-4C 天井内ころがし配線
機械はワリΦ50+金属配管取付 (19)
(d) トイレ呼出設備 (改修後)
EM-AE1.2-3C 天井内ころがし配線
2. 図中太線の機器、配管配線は新設とする。
3. 天井内ころがし配線に於ける壁面の立上り立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。
4. 機械穴開け工事は、鉄筋調査により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開けを作業を行うこと。 穴開け口径はφ100未満と厳守すること。
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。

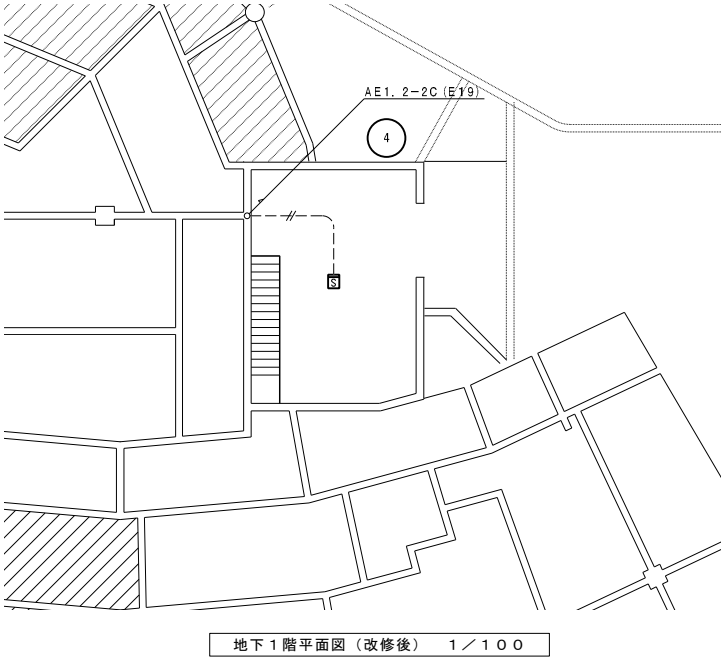
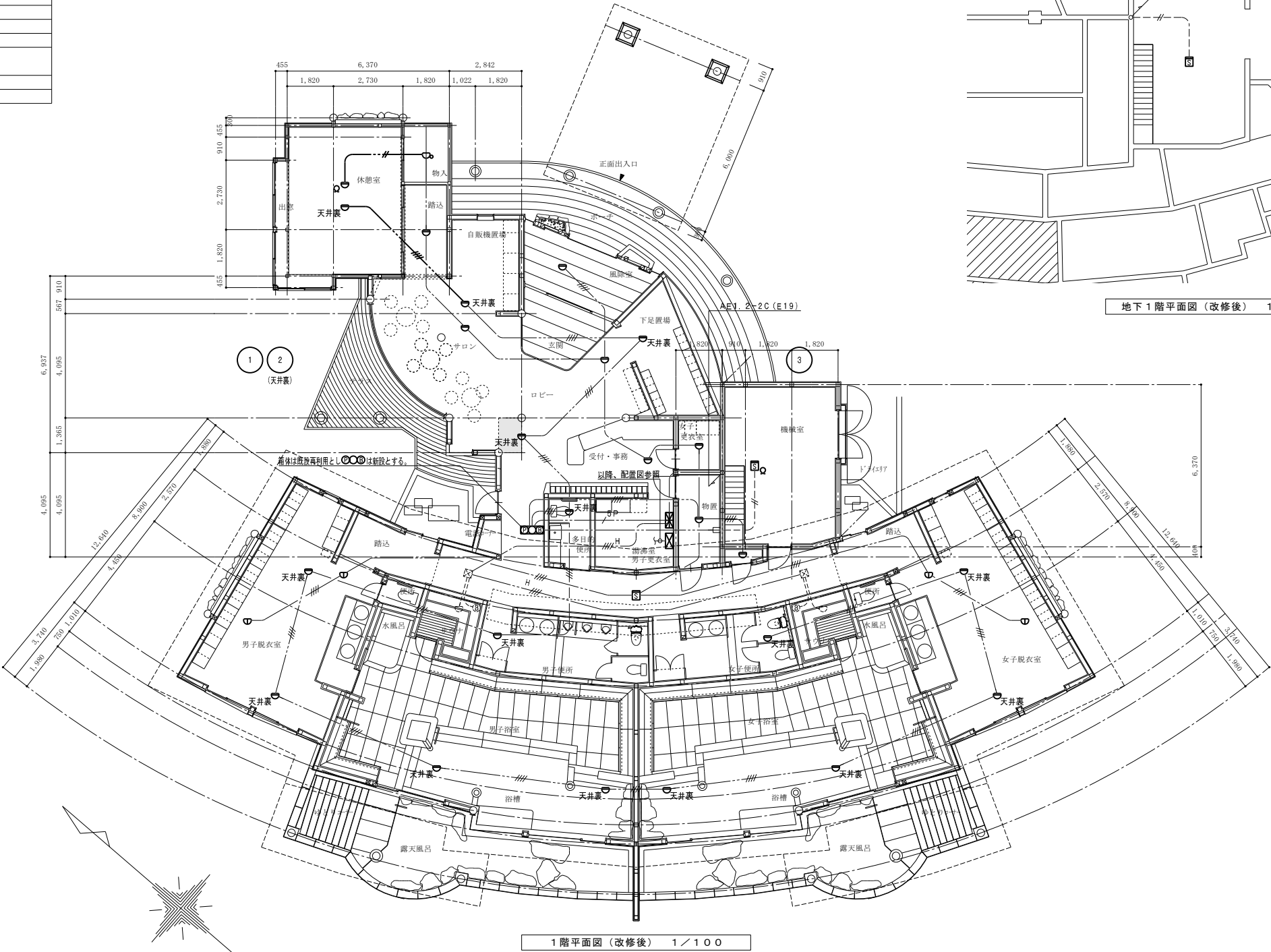


凡 例

記 号	名 称	規 格
	受信機 壁掛型	P型2線 5L
	総合盤 埋込縦形	
	P型発信機	2線
	表示灯	
	ベル	
	ベル	配線、ボックス機器共サウナ工事
	煙感知器 2種 露出形	
	差動式スポット型感知器 2種 露出形	
	定温式スポット型感知器 1種 防水	
	定温式スポット型感知器 特殊	
	定温式スポット型感知器 15.0℃	配線、ボックス機器共サウナ工事
	終端抵抗	
	警戒区域No.を示す	
	漏電火災警報器 2L 壁掛露出形	

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 自動火災報知設備 (改修後)		
	EM-AE1.2-2C	天井内ころがし配線
	EM-AE1.2-4C	天井内ころがし配線
	EM-HP1.2-2C	天井内ころがし配線
	EM-HP1.2-5P	天井内ころがし配線
	EM-AE1.2-2C (E19)	露出配管
	機械はつりΦ50+金網短管処理 (19)	
2. 太線の機器・配管配線は新設とする。		
3. 天井内ころがし配線に於ける壁面の立り立下り及びケーブル被覆等に外傷の恐れのある箇所には電線保護管を使用すること。尚防火区画等の貫通箇所は令第112条第20項及び令第129条の2の4第1項第7項の規定によるものとする。		
4. 機械穴開け工事は、鉄筋探索により鉄筋位置を避けて、ダイヤモンドカッターにて穴開けを作業を行うこと。 穴開け口径はφ100未満と厳守すること。		
5. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		



工事概要
・既設機器の更新を行う。

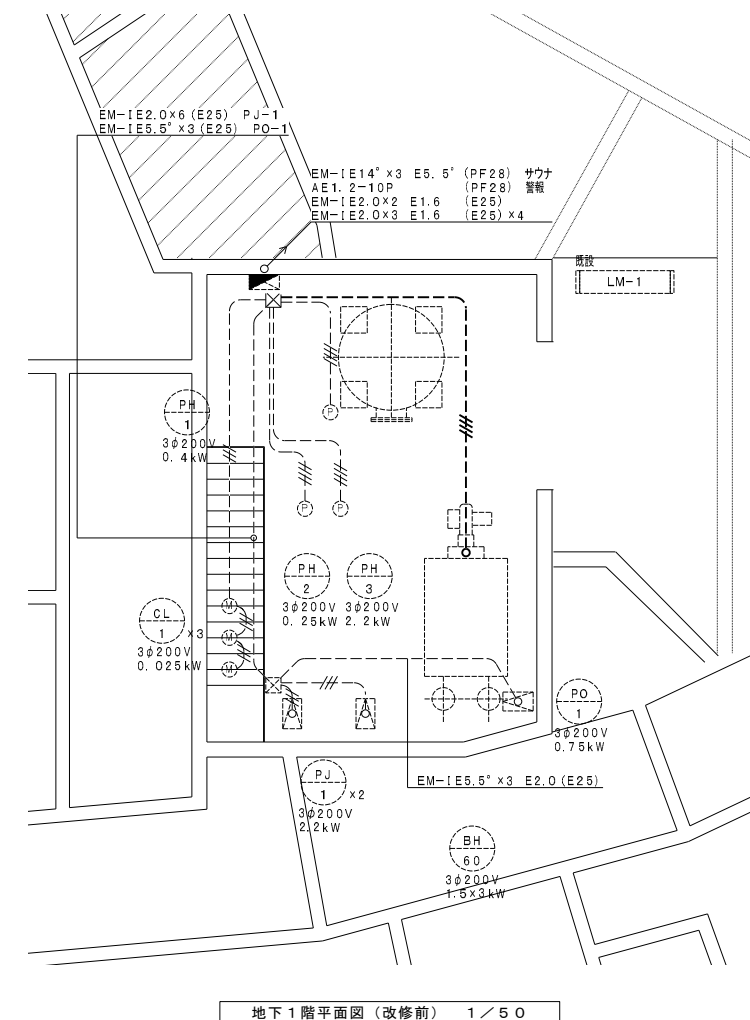
記 号	名 称	規 格
	引込柱	
⊗	引込壁	
⊗	電灯動力壁	
⊗	電灯壁	
⊗	端子壁	
⊗	ハンドホール	
⊗	ブルボックス	
⊗	電極	

1.	図中明記なき配管記號は下記の通りとする。	
		地中埋設配管 露出配管
2.	図中、太線の機器、配管記號は新設とする。	
3.	電動機の接続力は可とう電線管を使用すること。	
4.	作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払って施工すること。	



記 号	名 称	規 格
	電灯盤	
	電灯動力盤	
	警報盤 15L 壁掛型	
	サウナ盤	
	フルボックス	サイズは傍記による

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。 (a) 動力設備（改修前） <table border="1"> <tr> <td></td> <td>EM-IE2.0x3 (E25)</td> <td>露出配管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EM-IE2.0x4 (E25)</td> <td>露出配管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EM-CE5.5°-4C (E31)</td> <td>露出配管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EM-CE5.5°-4C</td> <td>天井内ころがし配線</td> </tr> </table>				EM-IE2.0x3 (E25)	露出配管		EM-IE2.0x4 (E25)	露出配管		EM-CE5.5°-4C (E31)	露出配管		EM-CE5.5°-4C	天井内ころがし配線
	EM-IE2.0x3 (E25)	露出配管												
	EM-IE2.0x4 (E25)	露出配管												
	EM-CE5.5°-4C (E31)	露出配管												
	EM-CE5.5°-4C	天井内ころがし配線												
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。														
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。														



地下 1 階平面図 (改修前) 1 / 50

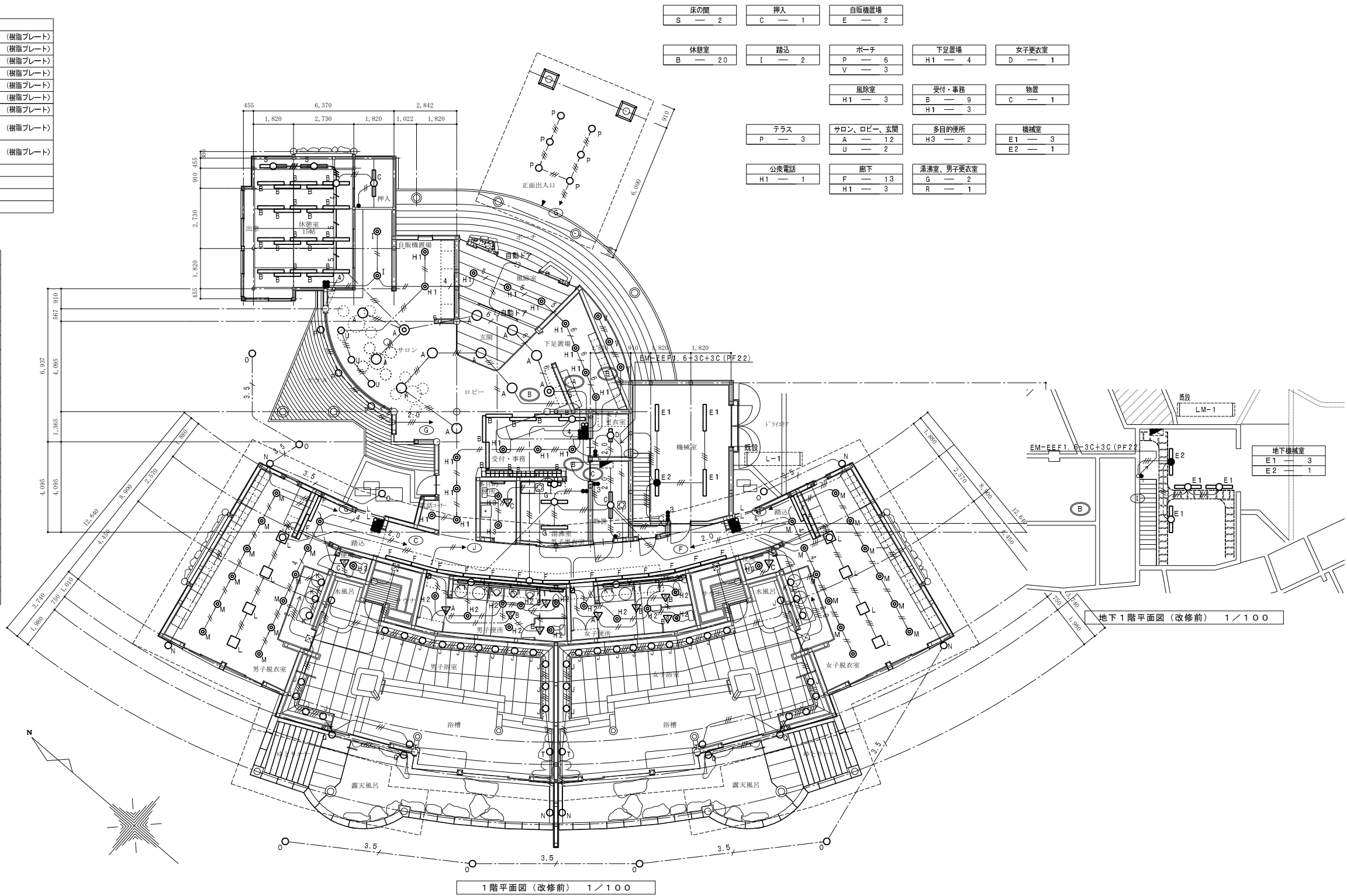
凡 例

記 号	名 称	規 格
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×2 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×4 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×1+1P4AL×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	3W15A×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×1+3W15A×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×2+3W15A×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×9+1P4AL×2+PL×1 (樹脂プレート)
●	タンブラスイッチ	1P15A×11+PL×2 (樹脂プレート)
▽A	人感センサー (天井)	親機
▽B	人感センサー (天井)	子機
▽C	人感センサー (天井)	親機 (換気扇連動)
□	人感センサー制御	手動操作ユニット 1回路用

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 電灯設備 (改修前)		
EM-EEF 1.6-2C	天井内こがし配線	
EM-EEF 1.6-3C	天井内こがし配線	
EM-EEF 1.6-2C×2	天井内こがし配線	
EM-EEF 1.6-2C+3C	天井内こがし配線	
EM-EEF 1.6-3C×2	天井内こがし配線	
EM-EEF 2.0-2C	天井内こがし配線	
EM-EEF 2.0-3C	天井内こがし配線	
EM-IE1.6×2 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE1.6×3 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE1.6×4 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE1.6×5 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE1.6×6 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE2.0×2 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-IE2.0×3 (PF16)	天井隠ぺい配管	
EM-CE3.5"-3C (FEP30)	地中埋設配管	
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。		
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		

既設照明器具リスト	
A	FML36W×3 埋込 埋込穴Φ450
B	Hf32W×1 露出 FSS8-321-PH1
C	Hf32W×1 露出 FSS9-321-PH2
D	FL20W×1 露出 FSS4-201-GH16
E1	FL40W×1 露出 FSR4-401
E2	FL40W×1 露出 K1-FSR4-401
F	Hf32W×2 露出 コーブ照明用
G	Hf32W×2 埋込 FRS19-322-PH2
H1	FDL27W×1 埋込 埋込穴Φ150
H2	FDL18W×1 埋込 埋込穴Φ150
H3	IL80W×1 埋込 埋込穴Φ150
I	FDL13W×1 埋込 木枠 埋込穴口150
J	FCL30W×1 露出 浴室灯
K	FPL13W×1 露出
K1	Hf32W×1 露出 FSS8-321-PH2
L	FPL36W×3 埋込 木枠 埋込穴口350
M	FHT24W×1 埋込 埋込穴Φ150
N	FPL27W×1 露出 防雨形
O	FDL13W×1 庭園灯
P	FDL13W×1 露出 防雨形
Q	FML18W×1 露出 防雨形
R	FL20W×1 流し元灯
S	Hf32W×1 露出 反射笠付
T	FCL32W+30W 露出 浴室灯
U	IL100W×2 和紙
V	IL60W×1 埋込 埋込穴Φ150



屋外
O — 7
N — 4

男子脱衣室、踏込
M — 12
L — 4
K — 3
F — 2

便所
H2 — 1

男子便所
H2 — 7
K1 — 4

男子浴室
J — 18
T — 1

露店風呂
Q — 2
N — 1

女子浴室
J — 18
T — 1

露店風呂
Q — 2
N — 1

女子便所
H2 — 5
K1 — 3

便所
H2 — 1

女子脱衣室、踏込
M — 12
L — 4
K — 3
F — 2

床の間
S — 2

押入
C — 1

自販機置場
E — 2

休憩室
B — 20

踏込
I — 2

ポーチ
P — 6
V — 3

下足置場
H1 — 4

女子更衣室
D — 1

風除室
H1 — 3

受付・事務
B — 9
H1 — 3

物置
C — 1

テラス
P — 3

サロン、ロビー、玄関
A — 12
U — 2

多目的便所
H3 — 2

機械室
E1 — 3
E2 — 1

公衆電話
H1 — 1

廊下
F — 13
H1 — 3

通湯室、男子更衣室
G — 2
R — 1

地下機械室
E1 — 3
E2 — 1

1階平面図 (改修前) 1/100

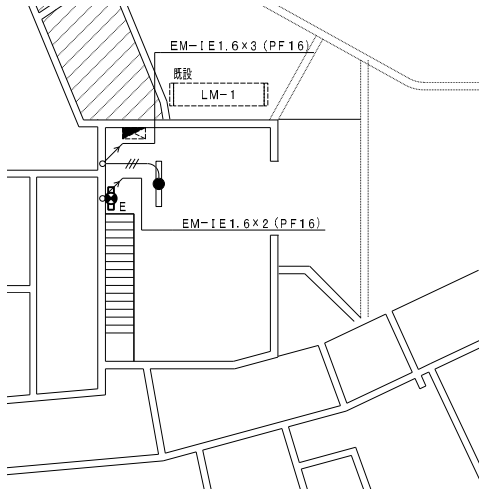
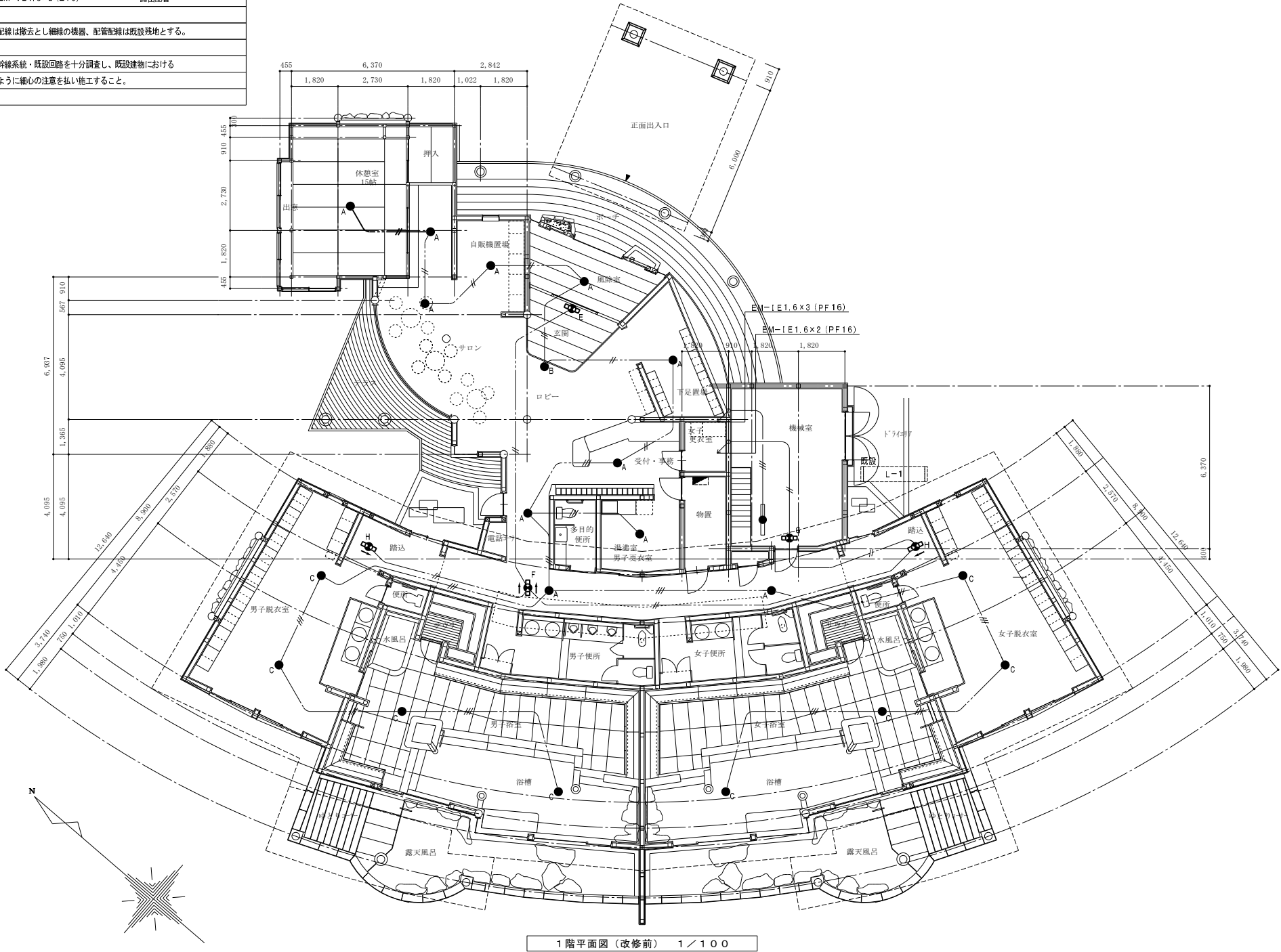
地下1階平面図 (改修前) 1/100

凡 例

記 号	名 称	規 格
●A	非常用照明	K1-IRS4-J13
●B	非常用照明	K1-IRS4-J30
●C	非常用照明	IL30W (ハロゲン電球) 防湿・埋込形
●D	非常用照明	K1-ISS4-J13
□E	避難口誘導灯	SH1-FBF20-20B
□F	通路誘導灯	ST1-FPF21P-20B
□G	通路誘導灯	ST1-FBF20-10
□H	避難口誘導灯	SH1-FPF21P-20

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 非常照明、誘導灯設備 (改修前)		
	EM-EFF 1.6-2C	天井内ころがし配線
	EM-EFF 1.6-3C	天井内ころがし配線
	EM-EFF 2.0-2C	天井内ころがし配線
	EM-EFF 2.0-3C	天井内ころがし配線
	EM-IE1.6x2 (PF16)	天井隠ぺい配管
	EM-IE1.6x2 (E19)	露出配管
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。		
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		

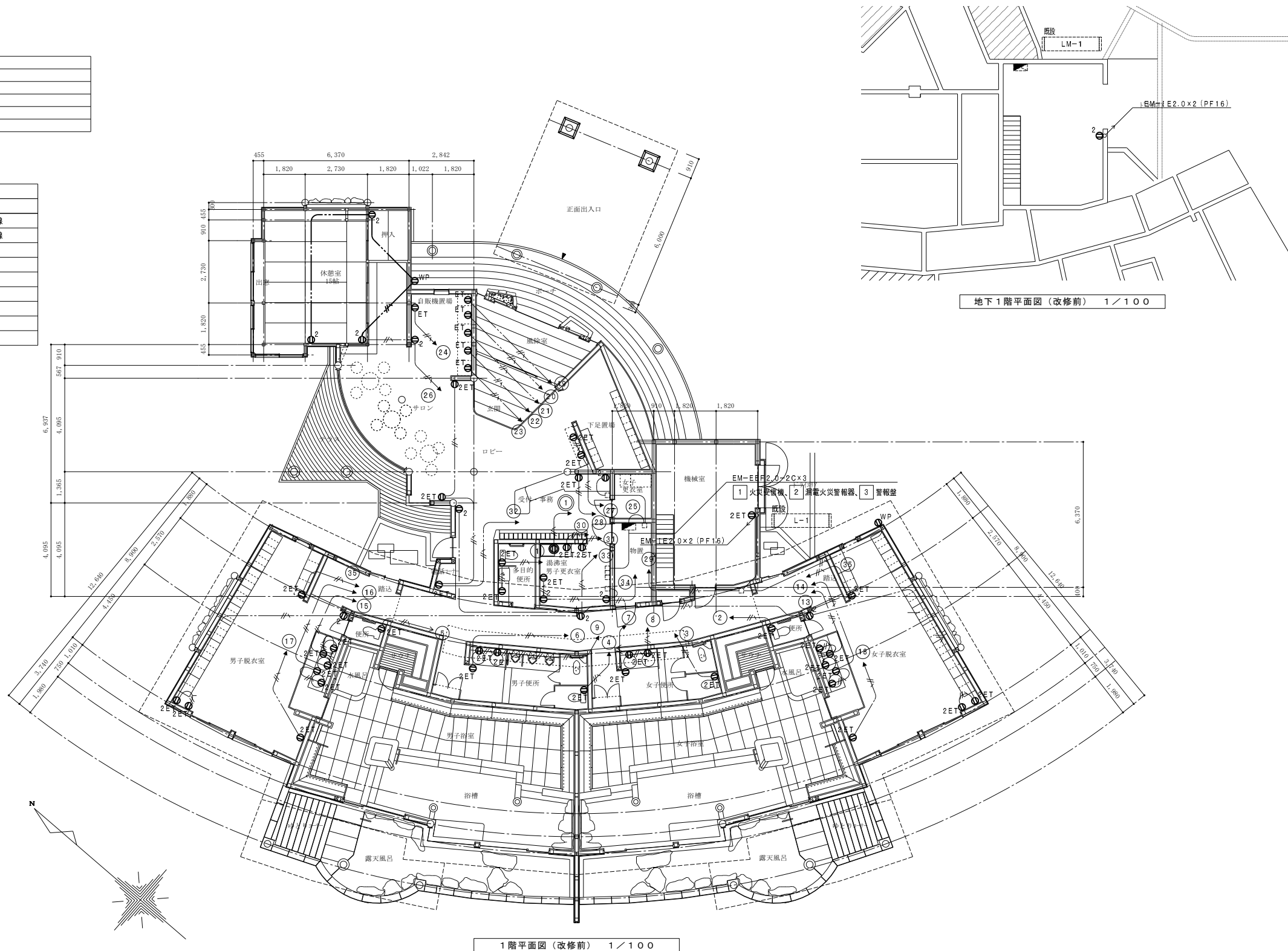


地下1階平面図 (改修前) 1/100

1階平面図 (改修前) 1/100

記 号	名 称	規 格
① ₂	埋込コンセント	2P15A×2
① _E T	埋込コンセント	2P15A×1 接地端子付
② _E T	埋込コンセント	2P15A×2 接地端子付
①	埋込コンセント	2P20A×1 接地端子付 250V
① _{WP}	防雨コンセント	2P15A×2 接地端子付

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。 (a) コンセント設備 (改修前) <table border="0"> <tr> <td></td> <td>EM-EFF2.0-2C</td> <td>天井内ころがし配線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EM-EFF2.0-3C</td> <td>天井内ころがし配線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>EM-IE2.0x3 (PF22)</td> <td>天井内隠ぺい配管</td> </tr> </table>			EM-EFF2.0-2C	天井内ころがし配線		EM-EFF2.0-3C	天井内ころがし配線		EM-IE2.0x3 (PF22)	天井内隠ぺい配管
	EM-EFF2.0-2C	天井内ころがし配線								
	EM-EFF2.0-3C	天井内ころがし配線								
	EM-IE2.0x3 (PF22)	天井内隠ぺい配管								
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。										
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。										

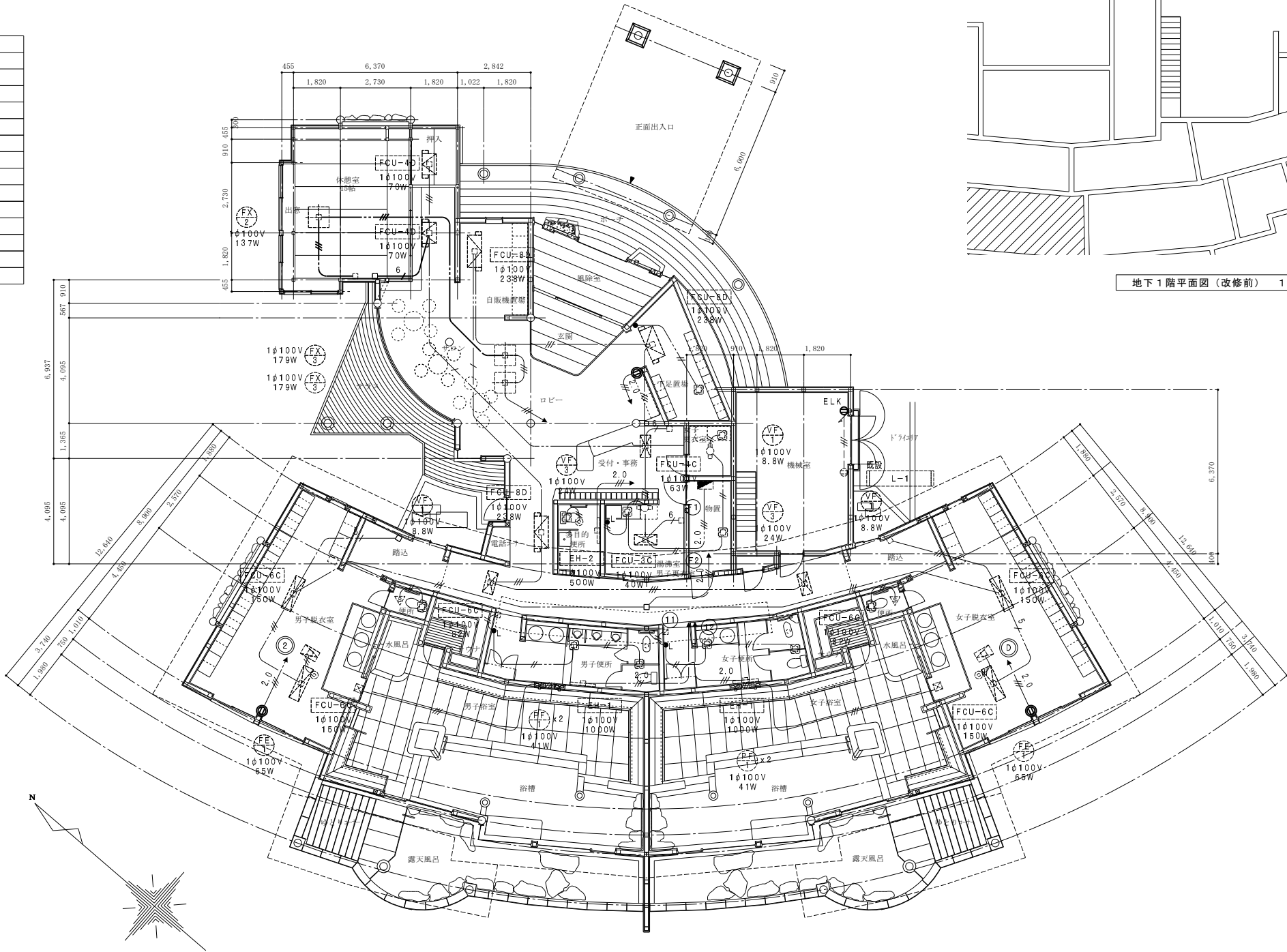


凡 例

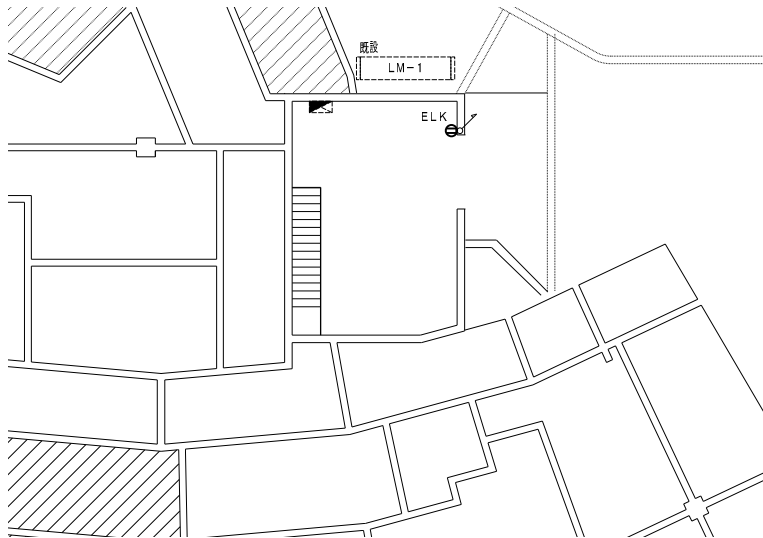
記 号	名 称	規 格
㊦	埋込コンセント	2P20A×1 接地極付 250V
㊦ELK	埋込コンセント	接地端子2P15A×1 接地極付
●L	タンブラスイッチ	1P4A/L×1 (樹脂プレート)

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 空調、換気電源設備 (改修前)		
	EM-EF 1.6-2C	天井内こがし配線
	EM-EF 1.6-3C	天井内こがし配線
	EM-EF 2.0-2C	天井内こがし配線
	EM-EF 2.0-3C	天井内こがし配線
	EM-IE 1.6x2 (PF16)	天井隠ぺい配管
	EM-C EE 2-6C (PF22)	天井隠ぺい配管
	EM-IE 2.0x3 (E25)	露出配管
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。		
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		



1階平面図 (改修前) 1/100



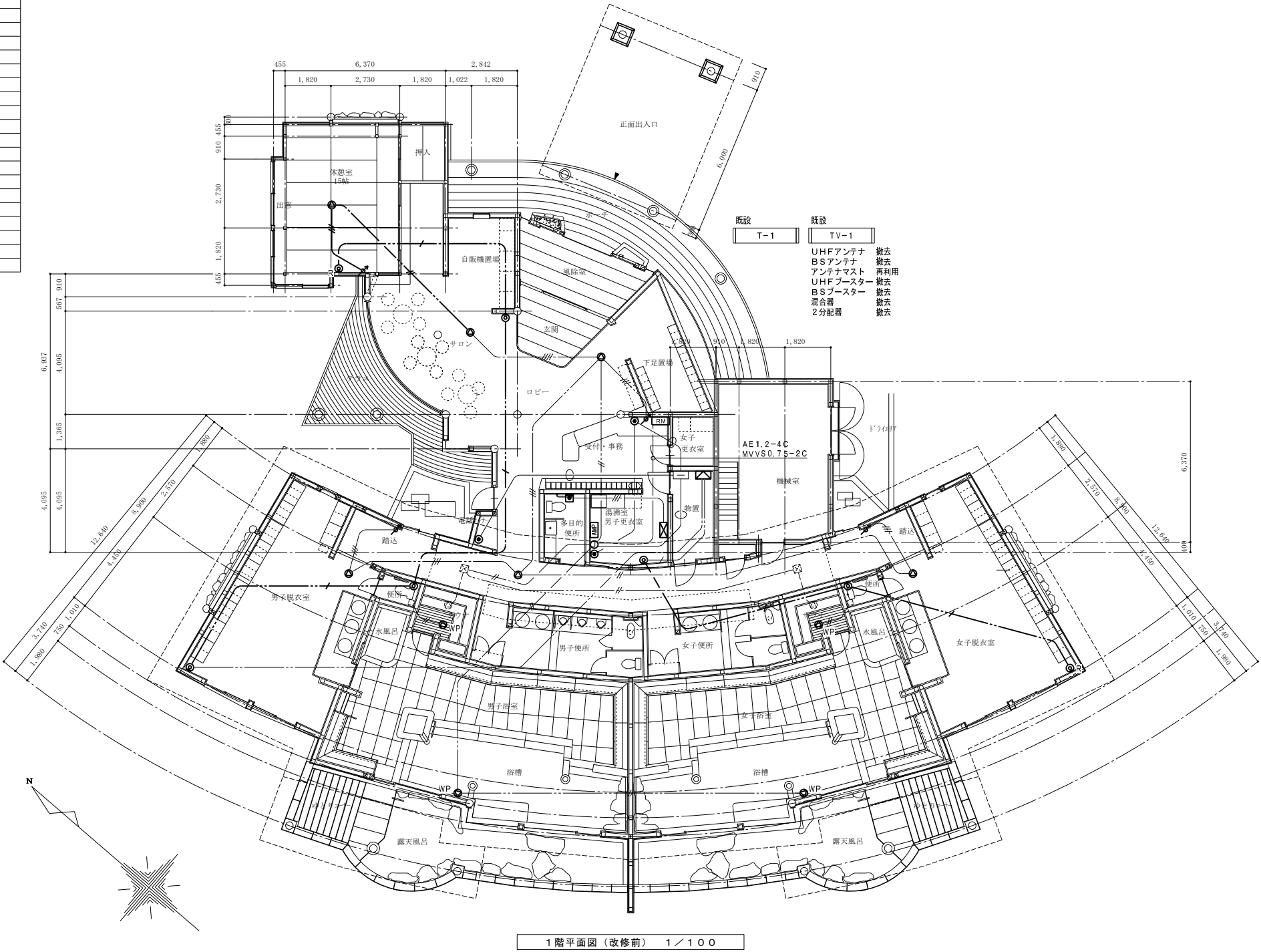
地下1階平面図 (改修前) 1/100

凡 例

記 号	名 称	規 格
	端子壁	保安器20P
	電話受口 TELプレート	
	テレビ機器収納箱	
	UHFアンテナ	20EL アンテナマスト付
	BSアンテナ	φ470 コンバーター付き
	UHFブースター	U-2
	BSブースター	BS-1
	混合器	
	2分配器	
	直列ユニット (中間)	BS-7F-7
	直列ユニット (終端)	BS-7F-R
	パワーアンプ	60W 卓上型
	カセットデッキ	
	CDプレイヤー	
	同上収納ラック	既設再利用
	リモコンマイク	
	天井埋込型スピーカー 3W	◎ 配線、ボックス、スピーカーはサウナ工事
	天井埋込型スピーカー 3W	防滴形
	露出壁掛型スピーカー 5W	防滴形
	アッテネーター 3W	
	ジャックパネル	
	トイレ呼出装置 1室	
	同上呼出押しボタン	

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。		
(a) 電話設備		(PF22) 天井内隠ぺい配管
(b) テレビ共聴設備		EM-5C-FB 天井内ころがし配線
(c) 拡声設備		EM-AE1.2-2C 天井内ころがし配線
		EM-AE1.2-3C 天井内ころがし配線
		EM-AE1.2-4C 天井内ころがし配線
(d) トイレ呼出設備		EM-AE1.2-3C 天井内ころがし配線
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とする。		
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。		



凡 例

記 号	名 称	規 格
	受信機 壁掛型	P型2線 5L
	総合盤 埋込縦形	受信機P型2線、ベル、表示灯
	ベル	配線、ボックス機器共サウナ工事
	煙感知器 2種 露出形	
	差動式スポット型感知器 2種 露出形	1P15A×2+3W15A×1
	定温式スポット型感知器 1種 防水	
	定温式スポット型感知器 特殊	
	定温式スポット型感知器 15.0℃	配線、ボックス機器共サウナ工事
	終端抵抗	
	警戒区域No.を示す	
	漏電火災警報器 2L 壁掛露出形	

注 記

1. 図中明記なき配管配線は下記の通りとする。	
(a) 自動火災報知設備 (改修前)	
	EM-AE1.2-2C 天井内ころがし配線
	EM-AE1.2-4C 天井内ころがし配線
	EM-HP1.2-4C 天井内ころがし配線
	EM-AE1.2-2C (E19) 露出配管
2. 図中太線の機器、配管配線は撤去とし細線の機器、配管配線は既設残地とする。	
3. 作業を行う前に、既設幹線系統・既設回路を十分調査し、既設建物における	
電気設備に損傷が無いように細心の注意を払い施工すること。	

